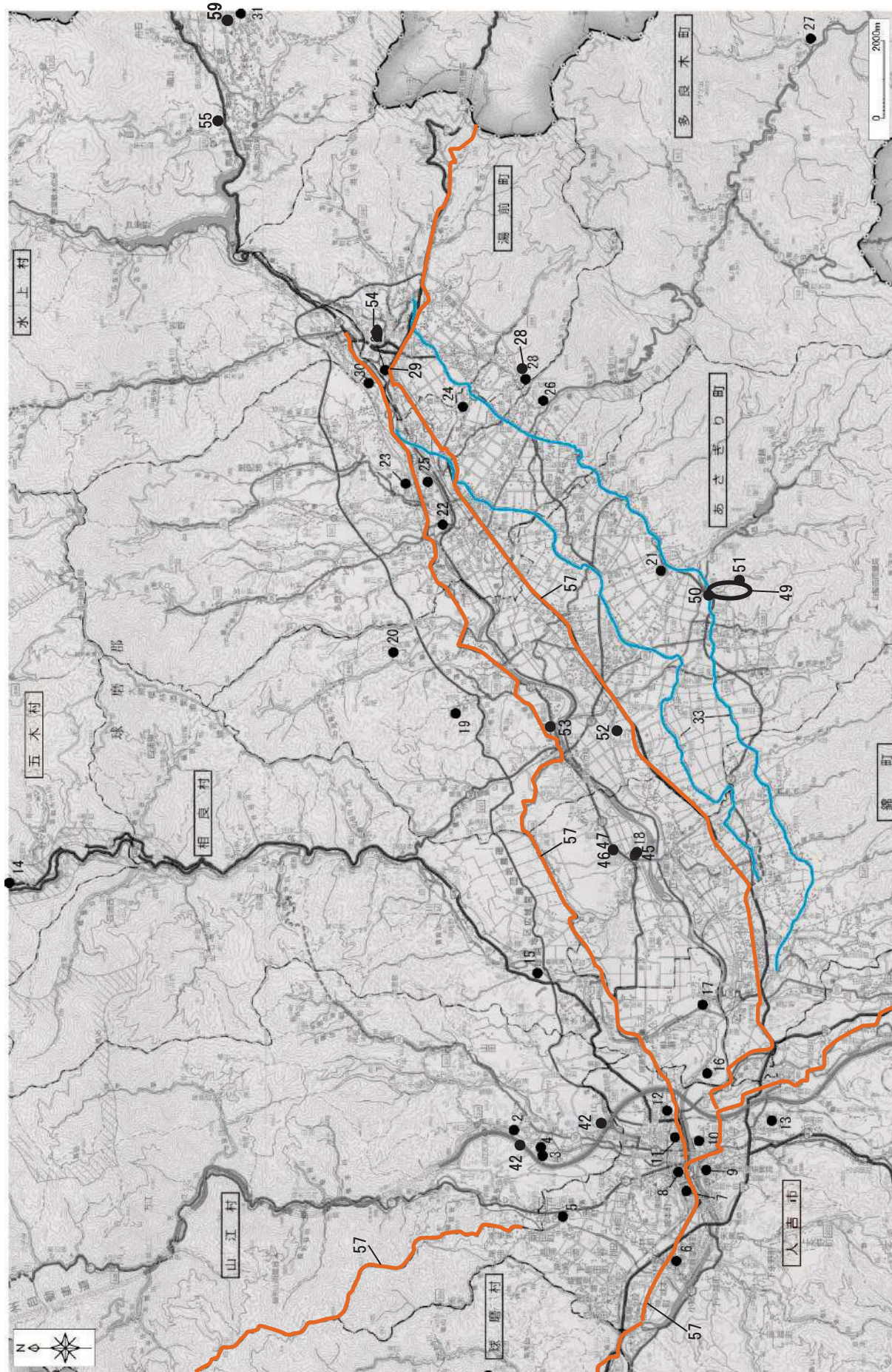


|                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                            |       |                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------|-------------------------------|
| ① 申請者                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ◎人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村 | ② タイプ | 地域型 <u>シリアル型</u><br>A B C D E |
| ③ タイトル                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                                            |       |                               |
| 相良 700 年が生んだ保守と進取の文化<br>～ 日本でもっとも豊かな隠れ里 ― 人吉球磨 ～                                                                                                                                                                                                                                                    |                                            |       |                               |
| ④ ストーリーの概要（200字程度）                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                                            |       |                               |
| <p>人吉球磨の領主相良氏は、急峻な九州山地に囲まれた地の利を生かして外敵の侵入を拒み、日本史上稀な「相良 700 年」と称される長きにわたる統治を行った。その中で領主から民衆までが一体となったまちづくりの精神が形成され、社寺や仏像群、神楽等をともに信仰し、楽しみ、守る文化が育まれた。同時に進取の精神をもってしたたかに外来の文化を吸収し、独自の食文化や遊戯、交通網が整えられた。保守と進取、双方の精神から昇華された文化の証が集中して現存している地域は他になく、日本文化の縮図を今に見ることができる地域であり、司馬遼太郎はこの地を「日本でもっとも豊かな隠れ里」と記している。</p> |                                            |       |                               |
|                                                                                                                                                                                                                 |                                            |       |                               |

市町村の位置図（地図等）



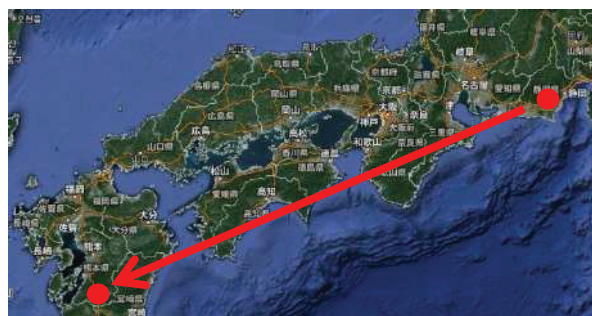
構成文化財の位置図



## ストーリー

## 【相良文化の成り立ちと特徴】

今から800年もの昔、源頼朝の命を受けて、  
遠江国相良荘（現在の静岡県牧之原市）から相良  
のお殿様がこの人吉球磨の地に来られました。その  
後、明治維新を迎えるまで、なんと700年もの長  
きにわたり、この地を治められたのです。しかし、  
この偉業を達成するには大変な苦勞がありました。



遠江国相良荘から人吉球磨の地へ

「険しい山々に囲まれた土地であれば、外敵の侵入  
は防ぐことができる。しかしその地形と球磨川の恵みによって 古<sup>いにしえ</sup>から育まれた独自性の強い土地  
柄、個性の強い民衆の中に入っていくにはどうしたものか・・・。」悩んだお殿様の最初の秘策は・・・  
「まずは、これまでの伝統文化を認めることから始めよう！」自我の強い民衆の心をつかむため、  
入国以前の領主に関わる神社仏閣や仏様を残すことにしたのです。心のより所を安堵<sup>あんど</sup>できた民衆は  
喜びました。「今度来らしたお殿様は友好的ばい！」民衆の心は少しずつ開き始めます。

そこで次の秘策です。「民衆の娯楽を認めてあげよう」貴  
重品である米を原料とする米焼酎の醸造を認め、またそれに  
伴う球磨拳<sup>けん</sup>やウンスンカルタなどの余興も大目にみました。  
民衆の暮らしも徐々に良くなり、藩の財政も立て直っていき  
ます。民衆の心はグッとお殿様に傾いていき・・・



焼酎を飲みながら球磨拳に興じる様子

「さすがおどんたちの殿さんは違うばい。よかよか、どこ  
までもついて行くばい！」

ここまでくればしめたもの。相良のお殿様に対する忠誠心と自負心が芽生え、お殿様の庇護<sup>ひご</sup>のもと  
と領民は伸び伸びと豊かな生活を営み、庚申信仰や三十三観音などの民間信仰も受け継がれるよう  
になりました。お殿様はこれまで倒してきた人々の荒ぶる魂  
を鎮め、神様としてまつり、永久に平和な統治が続くよう、  
最先端の技術・文化を取り込み、領内にどこか都ぶりな茅葺<sup>かやぶき</sup>  
の社寺を造り、自ら祭や儀式も執り行いました。民衆は自分  
たちの土地にみごとな建物が建ったのを誇らしく思い、「お  
殿様、ここの管理は我々に任せてください！」こうして社寺  
の維持管理も地域に根付いていきました。

相良氏が滅ぼした平河氏を祀る  
山田大王神社（山江村）

相良文化の特徴は、このように領主と民衆が一体となって  
形成され継承されたところにあります。相良のお殿様による  
秘策は、この地を治めるための必須条件でもあり、その後も歴代当主が継承し続けました。領民の  
信仰や思いに配慮しなければ、お殿様の地位も危ういものになるのです。

## 【現代に息づく相良文化】

こうして形成された相良700年の領民の意識は、お殿様が  
いなくなった現代にも脈々と受け継がれています。民衆が  
代々地域で信仰や儀礼を守り続けた結果、球磨神楽やおくん  
ち祭りが盛んに行われ、今日では各地で姿を消した茅葺<sup>かやぶき</sup>の建  
造物も、この地ではごく当たり前の光景として至るところで  
目にすることができます。相良氏により寄進<sup>きしん</sup>されたり、ある  
いは相良氏入国以前から守られた、この地域に数多く残る古  
仏についても、往時のままの姿を拝むことができ、あたかも  
時間が止まったかのように感じられます。また、球磨川沿い  
に立ち並ぶ風情ある温泉旅館から、相良氏の居城 人吉城が見  
え、その石垣に往時の相良氏覇権<sup>はけん</sup>の情景を重ねることができ  
ます。さらに、数百年の歴史を誇る世界ブランドの球磨焼酎  
は、過去と現在をつなぐ共通の味わいを感じさせ、現在、地  
元では“球磨の焼酎学校”など、焼酎文化を次世代に伝える  
取り組みが行われています。また、宴会の余興<sup>よきょう</sup>として歌われ  
てきた民謡では、球磨の民謡の継承と普及を目的にした“全  
国選手権大会”が開催され、全国の“のど自慢”が競い合い  
ます。ウンスンカルタでは、保存会が毎年“全国大会”を開  
催、球磨拳では、多良木町が“世界大会”を開催し、いずれ  
の大会も子供から大人まで出場して大きな盛り上がりを見  
せてます。相良三十三観音めぐりは、春秋のお彼岸<sup>ひがん</sup>に行われ  
る「御開帳<sup>ごかいちやう</sup>」を目当てに札所<sup>ふだしょ</sup>をめぐる大勢の人たちで賑わい、  
地域の方々の温かい「お接待<sup>せったい</sup>」も相まって、身も心も清めら  
れ癒されます。



球磨神楽（人吉球磨全城）



城泉寺阿弥陀三尊像（湯前町）



対岸より望む人吉城跡（人吉市）

相良のお殿様と民衆によって創り上げられた人吉球磨の歴史遺産の特徴は、領主から民衆までが  
一体となったまちづくりの精神を基に、社寺や仏像群、神楽等をともに信仰し、楽しみ、守る“保  
守”の文化、したたかに外来の文化を積極的かつ大胆に吸収した“進取”の文化、さらに、その二  
つの文化がさらなる昇華を遂げかたちづくられたものであることです。

肥薩線などの近代文明が到来した明治時代、相良氏700年の統治には終止符が打たれますが、  
相良氏と領民による文化とそれがもたらした歴史遺産は、現代の人吉球磨に生きる私たちの日常生  
活と深く関わっており、いわば“生きた歴史遺産”といえるのです。

このような独特な文化の形態は、まさに人吉球磨でしか見ることができず、昭和を代表する歴史  
小説家である司馬遼太郎は、その著書『街道をゆく』の中で、人吉球磨の地を「日本でもっとも豊  
かな隠れ里」とであると絶賛しています。

ストーリーの構成文化財一覧表

| 番号 | 文化財の名称<br>(※1)                                       | 指定等の状況<br>(※2) | ストーリーの中の位置づけ (※3)                                                                                              | 文化財の所在地 (※4) |
|----|------------------------------------------------------|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| 1  | こうのせすみよしじんじゃ<br>神瀬住吉神社                               | 県重文<br>(建造物)   | 航海の神として、球磨川を行き来する藩主や船頭たちの信仰を集めてきた神社。                                                                           | 球磨村          |
| 2  | しろやまかんのんどう<br>城山観音堂の<br>じゅういちめんかんのんぼさつぞう<br>十一面観音菩薩像 | 村有形 (彫刻)       | 戦国期の相良氏当主が造らせた仏像で、周辺住民が代々大切にしてきた仏様。                                                                            | 山江村          |
| 3  | たかてらいん<br>高寺院                                        | 国重文 (彫刻) ほか    | 相良氏が滅ぼした矢瀬氏による草創ながら、代々の相良氏が手厚く保護した寺院。                                                                          | 山江村          |
| 4  | やまだだいおうじんじゃ<br>山田大王神社                                | 国重文<br>(建造物)   | 相良氏が、滅ぼした平河義高の二男の藤高の怨霊鎮魂のために建立した神社。                                                                            | 山江村          |
| 5  | いのくちはちまんじんじゃ<br>井口八幡神社                               | 県重文 (建造物) ほか   | 領主相良氏の「戦の神」として代々保護を受けてきた神社。                                                                                    | 人吉市          |
| 6  | ひとよしおんせん<br>人吉 温泉                                    | 未指定<br>(無民)    | 戦国時代の 12 代相良為統が湯治したという記録が残る人吉球磨で最古の温泉があり、民衆も疲れを癒した。                                                            | 人吉市          |
| 7  | あおい あ そ じんじゃ<br>青井阿蘇神社                               | 国宝 (建造物)       | 領主相良氏の保護を受け、江戸時代には人吉藩領内の惣鎮守として藩主・民衆の信仰を集めた神社。                                                                  | 人吉市          |
| 8  | ウンスンカルタ                                              | 県重無民           | 江戸時代中期に幕府に禁制され廃れた中で、全国で唯一、人吉藩領のみ遊戯法が継承された。現在人吉市の民間団体が継承する。                                                     | 人吉市          |
| 9  | おいかみじんじゃ<br>老神神社                                     | 国重文<br>(建造物)   | 領主相良氏の氏神として保護され、周辺住民から「老神さん」として親しまれ信仰を集める神社。                                                                   | 人吉市          |
| 10 | ひとよしじょうあと<br>人吉 城跡                                   | 国史跡            | 球磨郡を統一した相良氏が、戦国期以降、江戸時代を通じて、代々居城とした城。御館前の堀に架かる石橋が完成した時、郡内の臼太鼓踊り組が 40 組終集結し、お祝いのため 12 日間にわたり踊りを披露し、藩主と領民、共に祝った。 | 人吉市          |
| 11 | だいしん じ<br>大信寺                                        | 県重文 (彫刻) ほか    | 22 代相良頼喬母の菩提寺。この母が帝王切開の末、頼喬を出産し亡くなったと伝わり、後に安産を願う民衆の信仰を集めた。                                                     | 人吉市          |
| 12 | がんじょうじ さがらけ ぼち<br>願成寺と相良家墓地                          | 国重文 (彫刻) ほか    | 領主相良氏の菩提寺の第一で、江戸時代は郡内の宗教世界を束ねる地位にあった格式高い寺院。裏に代々当主の墓が集められ、藩主の命日には庶民の参拝も盛んに行われた。                                 | 人吉市          |
| 13 | いわやくまの ざじんじゃ<br>岩屋熊野座神社                              | 国重文<br>(建造物)   | 領主相良氏による度々の修造が行われた神社。熊野信仰の広がりとともに民衆の信仰を集めた。                                                                    | 人吉市          |
| 14 | ひがしまた にしまた あ そ じんじゃ<br>東 俣・西俣阿蘇神社                    | 未指定 (建造物) ほか   | 江戸中期、五木村の民衆との結びつきを重視する藩主が代参を続けた神社。                                                                             | 五木村          |

|    |                                                  |                  |                                                                  |       |
|----|--------------------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------|-------|
| 15 | あまみやじんじや<br>雨宮神社                                 | 未指定（建造物）ほか       | 雨乞いに霊験があるとして、領主・民衆から信仰を集めた神社。戦国期の雨乞いのエピソードが特に有名。                 | 相良村   |
| 16 | としますがわらじんじや<br>十島菅原神社                            | 国重文（建造物）         | この地域で最大の天神様として、領主から民衆まで信仰を集めた神社。                                 | 相良村   |
| 17 | いざおくまの ざじんじや<br>井沢熊野座神社                          | 県重文（建造物）         | 16代相良長唯(義滋)により再興された神社。民謡「球磨の六調子」にも歌われるほどの名所として、民衆に親しまれた神社。       | 相良村   |
| 18 | このもとじんぐう<br>木本神宮                                 | 町有形（建造物）         | 相良氏が滅ぼした平河氏の創建ながら、相良氏代々が手厚く保護し、民衆に守られてきた神社。                      | 錦町    |
| 19 | しょうふくじかんれんいさんぐん<br>勝福寺関連遺産群                      | 国重文（彫刻）ほか        | 勝福寺は相良氏入国以前の在地豪族の菩提寺ながら、相良氏による保護を受け続けた寺院。                        | あさぎり町 |
| 20 | すえ あ そしやかどう<br>須恵阿蘇釈迦堂                           | 未指定（建造物）ほか       | 在地豪族の須恵氏が創建し、相良氏代々が保護した。釈迦三尊像が民衆に大切に守られ続けている。                    | あさぎり町 |
| 21 | やまのうえはちまんじんじや<br>山上八幡神社                          | 町有形（建造物）         | 戦国時代に滅ぼした上村氏を供養するために、安土桃山時代になり相良氏が建立した神社。                        | あさぎり町 |
| 22 | おうぐうじんじや<br>王宮神社                                 | 県重文（建造物）         | 多良木地域の鎮守として、相良氏の手厚い保護を受け民衆の信仰を集めた神社。萱葺屋根の楼門は日本最古級。               | 多良木町  |
| 23 | しょうれんじあみだどう<br>青蓮寺阿弥陀堂                           | 国重文（建造物）         | 鎌倉時代以降の多良木相良氏代々の菩提寺で、民衆の信仰を集めた。郡内に残る中世的な景観の代表的な場所の一つ。            | 多良木町  |
| 24 | おおたけじゅうたく<br>太田家住宅                               | 国重文（建造物）         | 江戸時代、藩の許可を受け焼酎作りを行っていた民家。焼酎文化の盛行を示す。                             | 多良木町  |
| 25 | たらぎさがらしかんれんいさんぐん<br>多良木相良氏関連遺産群                  | 県重文（建造物）ほか       | 相良氏が鎌倉時代に下向した後、在地に受け入れられるまで苦心した時期の館跡と、その当時、民衆のために開削した灌漑用水などの史跡。  | 多良木町  |
| 26 | くめ はるよりじんじや<br>久米治頼神社                            | 町有形（建造物）         | 当主に反乱を起こし滅ぼされた相良治頼とその母を供養するため、戦国時代に建立された神社。                      | 多良木町  |
| 27 | つきぎ おたいしどう こうぼうだいしぞう<br>槻木大師堂の弘法大師像              | 県重文（彫刻）          | 郡内における民衆の大師信仰の広まりを受け、室町時代前期に相良氏を願主として造られたもの。                     | 多良木町  |
| 28 | じょうせんじ はっしょうじあみだどう<br>城泉寺・八勝寺阿弥陀堂                | 国重文（建造物）ほか       | 在地豪族久米氏が建立したといわれるが、その後も相良氏や民衆の厚い保護・信仰を受けて、堂舎と本尊、石塔群が中世の景観を今に伝える。 | 湯前町   |
| 29 | おだいしどう<br>御大師堂                                   | 県重文（建造物・彫刻）      | 郡内で領主から民衆まで広まっていた大師信仰を受け、大切に守られてきた大師堂と御大師様。                      | 湯前町   |
| 30 | しょうぜんいんかんのんどうおよび<br>生善院観音堂及び<br>ほんどう くり<br>本堂と庫裏 | 国重文（建造物）村指定（建造物） | 人吉藩化け猫騒動にちなむ観音堂。市房山神宮参詣時には藩主が立ち寄った。「狛猫」が参拝客を迎える。                 | 水上村   |

|    |                              |            |                                                                                                                 |                                           |
|----|------------------------------|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 31 | いちふさやまじんぐうほんぐう<br>市房山神宮本宮    | 未指定（建造物）ほか | 郡内最高峰の市房山を信仰の対象とした神社。郡鎮守であり、歴代の相良氏を始め、民衆も「お嶽さん参り」と呼んでしばしば参詣した。                                                  | 水上村                                       |
| 32 | く ま しょうちゅう<br>球磨焼酎           | 未指定（無形）    | 人吉球磨地域において、江戸時代では貴重だった米を主原料としての醸造が相良氏によって認められ、庶民に至るまで愛飲された酒。450 年以上の歴史を誇る。                                      | 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村 |
| 33 | ひやくたろうみぞ こうのみぞ<br>百太郎 溝と幸野溝  | 未指定（建造物）   | 人吉藩領内の米生産を支えた長大な灌漑用水。藩や地域住民により長い年月をかけ開削事業が行われ難工事の末に完成した、現役の用水である。この 2 つの用水は、平成 28 年 11 月 8 日「世界かんがい施設遺産」に登録された。 | 錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村                     |
| 34 | ひとよし く ま ぶんよう<br>人吉球磨の民謡     | 未指定（無民）    | 人吉球磨地域の民衆に長く唄われてきた民謡は、人々が集まると誰ともなく自然と唄われ始める。特に宴会で焼酎が始まると終わりを知らない。                                               | 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村 |
| 35 | しょうちゅうばか<br>焼酎墓              | 未指定（建造物）ほか | 酒好きの人間であったことを思わせる戒名や、墓石の笠が盃であるなど、焼酎文化を伝える墓。                                                                     | 人吉市・錦町・多良木町                               |
| 36 | く ま けん<br>球磨拳                | 多良木町無民ほか   | じゃんけんのルーツとも言われる拳遊び。宴会の余興としては、勝負に負けた方が焼酎を飲むのだが、焼酎飲みたさにわざと負ける者もいたとか。                                              | 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村 |
| 37 | こうしんしんこう こうしんとう<br>庚申信仰と庚申塔  | 県重民ほか      | 戦国期以降に流行する庚申信仰に係る庚申塔。他地域のものより巨大な庚申塔が、数多く人吉球磨地域に現存している。                                                          | 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村 |
| 38 | さがらさんじゅうさんかんのん<br>相良三十三観音めぐり | 人吉市無形民俗ほか  | 人吉藩家老井口氏により藩内に三十三観音が選定され、御詠歌が作られて以後、各札所は地域住民の精神的な拠り所として信仰を集め続けている。                                              | 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・山江村・球磨村     |
| 39 | く ま かぐら<br>球磨神楽              | 国重無民       | 青井阿蘇神社おくんち祭の宵宮奉納を皮切りに郡内 43 神社で奉納されてきた神楽。相良氏の厚い保護を受けた神楽の見物は民衆の娯楽でもあった。                                           | 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村 |
| 40 | うすだいこおど<br>臼太鼓踊り             | 県重無民ほか     | 相良氏による武道奨励・士気鼓舞を目的に始められたとされる踊り。領民によって長く伝承され、現在も郡内各地で踊り続けられている。                                                  | 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村 |
| 41 | く ま がわ<br>球磨川                | 未指定（名勝）ほか  | 相良氏は、水量が豊富な豊富な球磨川を交通および米や木材などの物資の輸送に大いに利用した。明治時代に入り鉄道運輸に取って代わられるが、水運の伝統は、現在の観光「くま川下り」に受け継がれている。                 | 人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・球磨村         |

|    |                                                                    |                    |                                                                                            |       |
|----|--------------------------------------------------------------------|--------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 42 | ながとめさがらし じょうかくぐん<br>永留相良氏城郭群                                       | 山田城跡<br>高城跡<br>村史跡 | 相良氏 2 代相良頼親を祖とする永留相良氏が人吉城に拠点を移すまで、勢力の伸張とともに築きあげた城が山田城・高城である。                               | 山江村   |
| 43 | おくんち祭り<br><small>まつ</small>                                        | 未指定<br>(無民) ほか     | 相良氏統治時から続く青井阿蘇神社の秋の例大祭。                                                                    | 人吉市   |
| 44 | ひとよしはんこてきたい<br>人吉藩鼓笛隊                                              | 未指定<br>(無民) ほか     | 幕末に薩摩藩の影響を受け英国式兵制を取り入れた際に組織された鼓笛隊。音色から「ヒーロイロイ」と呼ばれ親しまれている。                                 | 人吉市   |
| 45 | いわんじょうあと<br>岩城跡                                                    | 未指定<br>(史跡)        | 別名:木上城。江戸時代の『球磨絵図』にも記載がある中世山城で、在地豪族の平河氏の居城であった。13 代相良長毎が城内に市房山神宮を勧請し木本神宮を建立、信仰のより所とした。     | 錦町    |
| 46 | あらただいおうじんじゃ<br>荒田大王神社                                              | 町有形<br>(建造物)       | 相良氏が滅ぼした在地豪族の平河氏の霊を鎮めるために建立した神社。                                                           | 錦町    |
| 47 | あらたかんのんどう <small>しやかによらいぞう</small><br>荒田観音堂の釈迦如来像                  | 釈迦如来像<br>県重文 (彫刻)  | 相良氏入国前の在地豪族である平河氏が造立したと考えられる平安仏。                                                           | 錦町    |
| 48 | しやりゅうけんぽう<br>タイ捨流剣法                                                | 町無形<br>(古武道)       | 戦国時代、相良家家臣丸目蔵人佐長恵によって創始された剣術。長恵は相良家の剣術指南役として仕え、以後、相良家や藩士によって学ばれた。                          | 錦町    |
| 49 | うえむらさがらし <small>かんれんいさんぐん</small><br>上村相良氏関連遺産群                    | 町史跡など              | 戦国時代、相良氏の庶流から本家を相続した上村氏の城跡・墓等。                                                             | あさぎり町 |
| 50 | しらがじんじゃ<br>白髪神社                                                    | 未指定<br>(建造物) ほか    | 青井阿蘇神社の流れをくむ上村相良氏の氏神社。安産または慈雨の神として、代々の相良氏女が懐胎の節には安産祈願、干ばつの節は藩令をもって雨乞い祈願がなされた。              | あさぎり町 |
| 51 | たにみずやくしどう<br>谷水薬師堂                                                 | 町有形<br>(建造物)       | 室町時代の創建と伝えられる上村氏の菩提寺を上村氏滅亡後に相良氏が再興した堂。                                                     | あさぎり町 |
| 52 | おかどめくまのざじんじゃ<br>岡留熊野座神社                                            | 未指定<br>(建造物) ほか    | 人吉相良氏第 3 代頼俊が、鎌倉時代後期の蒙古襲来に際し、強敵を退け国家安定を祈り創建したとの由来を持つ神社であり、以後も、相良氏や家臣・領民によって大切に守られてきた神社である。 | あさぎり町 |
| 53 | ふかだだいおうじんじゃ<br>深田大王神社<br><br><small>ふかだあ そじんじゃ</small><br>(深田阿蘇神社) | 町有形<br>(建造物)       | 相良氏は、人吉球磨支配の過程において、在地豪族の平河氏を滅ぼした。平河氏のうち盛高 (義高の長男) の霊を鎮めるために、相良氏が建立した神社。現在は、深田阿蘇神社に合祀されている。 | あさぎり町 |
| 54 | いちふさやまじんぐうげぐう<br>市房山神宮下宮<br><br><small>さとみやじんじゃ</small><br>(里宮神社)  | 未指定<br>(建造物) ほか    | 市房山にある本宮まで登ることの出来ない人々が詣でる神社。春の例大祭では、「お嶽さん参り」にちなむ祭礼が行われている。                                 | 湯前町   |

|    |                                                           |                                 |                                                                                                                                                                                |                                                               |
|----|-----------------------------------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 55 | いちふさやまじんぐうちゅうぐう<br>市房山神宮 中 宮<br><br>いちのみやじんじや<br>(一の宮神社)  | 未指定<br>(建造物) ほか                 | 大同 2 年 (807) に市房山神宮を造営する際に、<br>仮殿が置かれ、後に、その跡地に霧島神宮社の神<br>を勧請したのが一の宮神社である。当時の「お嶽<br>さん参り」コースの一つで、市房山神宮本宮を目<br>指す藩主や領民の唯一の休憩場所としても利用さ<br>れていた。                                   | 水上村                                                           |
| 56 | たけ まい<br>お嶽さん参り                                           | 未指定<br>(無民)                     | 領主相良氏が、領民に勧めた旧球磨郡内の最高峰<br>である市房山への参詣。                                                                                                                                          | 人吉市・錦町・あ<br>さぎり町・多良<br>木町・湯前町・水<br>上村・相良村・五<br>木村・山江村・球<br>磨村 |
| 57 | さがら し かんれんこどう<br>相良氏関連古道                                  | 未指定<br>(史跡) ほか<br>一部は山江村<br>史跡  | 人々が交流し、有形・無形の文化をもたらした人<br>吉球磨に通じる古道。                                                                                                                                           | 人吉市・錦町・あ<br>さぎり町・多良<br>木町・湯前町・水<br>上村・相良村・五<br>木村・山江村・球<br>磨村 |
| 58 | ひとよしく ま<br>人吉球磨のやきもの<br><br>うえむらやき いっしょうちやき<br>(上村焼、一勝地焼) | 未指定<br>有形 (美術工<br>芸品)<br>一部は県史跡 | 上村焼や一勝地焼に代表される人吉球磨地域の陶<br>磁器。上村焼のルーツは文禄・慶長の役に参陣し<br>た相良長毎が、朝鮮から陶工を連れ帰り生産され<br>たことに始まるとも言われる。また、相良家家臣の<br>右田伝八による一勝地 (球磨郡球磨村) での原料<br>の発見を契機に一勝地焼きが始まり、現在でも連<br>綿と日常生活に使用されている。 | 人吉市・錦町・あ<br>さぎり町・多良<br>木町・湯前町・水<br>上村・相良村・五<br>木村・山江村・球<br>磨村 |
| 59 | いちふさすぎ<br>市房杉                                             | 未指定<br>(記念物・民<br>俗文化財) ほか       | お嶽さん参りも行われる霊峰、市房山の市房杉<br>は、樹齢 1 0 0 0 年とも言われ、幹回りは数mに<br>も及び、巨大な杉が立ち並ぶ様子は圧巻で、全体<br>が神秘的で荘厳な景観である。                                                                               | 水上村                                                           |

(※ 1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。

(※ 2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること (例: 国史跡、国重文、県有形、市無形、等)。

(※ 3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること (単に文化財の説明にならないように注意すること)。

(※ 4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること (複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること)。

構成文化財の写真一覧

1. 神瀬住吉神社



2. 城山観音堂の十一面観音菩薩像



3. 高寺院



4. 山田大王神社



5. 井口八幡神社



6. 人吉温泉



7. 青井阿蘇神社



8. ウンスンカルタ



構成文化財の写真一覧

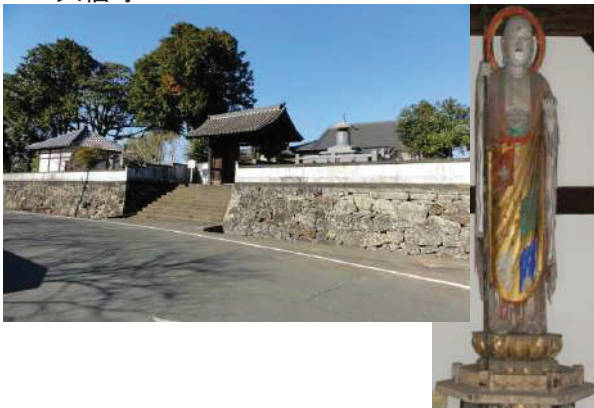
9. 老神神社



10. 人吉城跡



11. 大信寺



12. 願成寺と相良家墓地



13. 岩屋熊野座神社



14. 東俣・西俣阿蘇神社



15. 雨宮神社



16. 十島菅原神社



構成文化財の写真一覧

17. 井沢熊野座神社



18. 木本神宮



19. 勝福寺関連遺産群



20. 須恵阿蘇釈迦堂



21. 山上八幡神社



22. 王宮神社



23. 青蓮寺阿弥陀堂



24. 太田家住宅

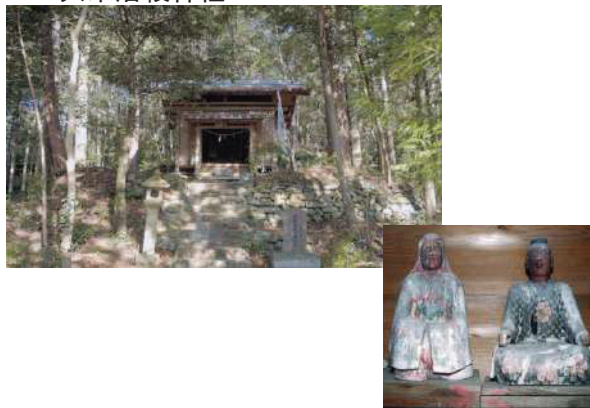


構成文化財の写真一覧

25. 多良木相良氏関連遺産群



26. 久米治頼神社



27. 槻木大師堂の弘法大師像



28. 城泉寺・八勝寺阿弥陀堂



29. 御大師堂



30. 生善院観音堂及び本堂と庫裏



31. 市房山神宮本宮



32. 球磨焼酎



構成文化財の写真一覧

33. 百太郎溝と幸野溝



34. 人吉球磨の民謡



35. 焼酎墓



36. 球磨拳



37. 庚申信仰と庚申塔



38. 相良三十三観音めぐり



39. 球磨神楽



40. 臼太鼓踊り



構成文化財の写真一覧

41. 球磨川



42. 永留相良氏城郭群



43. おくんち祭り



44. 人吉藩鼓笛隊



45. 岩城跡



46. 荒田大王神社



構成文化財の写真一覧

47.荒田観音堂の釈迦如来像



48.タイ捨流剣法



49.上村相良氏関連遺産群



50.白髪神社



51.谷水薬師堂



52.岡留熊野座神社



構成文化財の写真一覧

53.深田大王神社(深田阿蘇神社)



54.市房山神宮下宮(里宮神社)



55.市房山神宮中宮(一の宮神社)



56.お嶽さん参り



57.相良氏関連古道

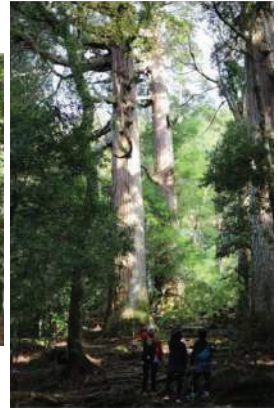


構成文化財の写真一覧

58.人吉球磨のやきもの(上村焼、一勝地焼)



59.市房杉



## 日本遺産を通じた地域活性化計画

| 認定番号 | 日本遺産のタイトル                                  |
|------|--------------------------------------------|
| 18   | 相良700年が生んだ保守と進取の文化<br>～日本でもっとも豊かな隠れ里―人吉球磨～ |

## (1) 将来像（ビジョン）

**球磨川を中心に相良700年の歴史を踏まえた災害からの復興**

人吉球磨地域は四方を山々に囲まれた盆地の地形を有し、そこに降る全ての雨を受け入れる球磨川は盆地内に肥沃な土地を生み出し、そうした風土を舞台に相良氏の統治が700年に亘って続いてきた。そこで営まれる農耕文化や豊かな食文化、また地域の民の拠り所となる神社仏閣の数々が保存・伝承されてきた人吉球磨はまさに「日本でもっとも豊かな隠れ里」に相応しい地域といえる。

この人吉球磨地域は令和2年7月の豪雨により過去に経験したことのない災害に見舞われ、地域社会全体が復興の歩みを進める中で、同様に水害を被った日本遺産の構成文化財も地域の関係者の努力と熱意によって、復旧・復興の歩みが進められている。

人吉球磨の日本遺産構成文化財は、もともとそれぞれが絡み合っていて醸成されているとともに、水害を含む幾多の災害等を経て、地域住民の手によって守り紡がれてきたことが特色である。こうしたことを前提とした保存と継承が必要であり、その活用にあたっては複数の要素を織り交ぜた形で構成することが最も自然で、かつ有効に日本遺産のストーリーを伝えることができると考える。

中でも、構成文化財であり地域資源の柱である球磨川は、古くから、農林水産業だけでなく、物流の舟運活用、近年は球磨川くだり、ラフティングなどの観光等、多様な産業の舞台として多くの役割を担っており、これまでも、またこれからも多くの恵みをもたらす存在であることから、球磨川に対する地域住民の愛着は、あの未曾有の災害発生後も何ら変わっていない。

特に、今次災害において被害の大きかった人吉市や球磨村においてはその傾向が顕著であり、各々の復興計画において掲げられている観光産業の再生においても自然景観、そして文化遺産である球磨川の再生と活用の取組は必須となっている。

さらに、熊本県においては、球磨川流域の自然資源・文化歴史資源や災害遺構等を河川やトレイル、鉄道で繋ぎ、流域全体を丸ごと博物館化する「球磨川リバーミュージアム構想」を今後流域の構成市町村とともに策定し、地域連携・防災力強化・環境教育のフィールドを創造するべく、日本遺産構成文化財を中心とする地域の宝の掘り起こしと再評価の取組を始めている。このように球磨川が育んだ相良文化を中心とした日本遺産ストーリーは、県政においても地域構想策定の際の指針とされているところである。

また、構成市町村の一つであり、多くの構成文化財が被災した人吉市を例に挙げると、人吉城跡や青井阿蘇神社、球磨川くだりなどの復旧・再生と、復興まちづくりは一体のものとして捉えられており、発災直後から、球磨川くだりの再開と同発船場（HASSENBA）のリニューアル、隈研吾氏設計の青井の杜国宝記念館の新設（日本遺産「市房杉」を活用）、人吉城跡の災害復旧・人吉城歴史館のリニューアル整備などの取組が進められている。さ

らに、このような公民の取組を「点から面へ」と一体的、総合的に推進するために、令和6年8月に国・県・市を含む行政、都市分野の専門家、地元民間事業者等に、歴史文化の有識者も加えて構成される人吉市復興まちづくり推進会議・同デザイン会議が設立されたところである。河川・道路整備や土地区画整理事業をはじめとした安全・安心のためのハード整備を進めつつも、本会議で推進する復興まちづくりにおいて最も重要視されるのは、悠久の清流球磨川、相良700年の歴史と継承される文化を守り、それらが創る昼夜の魅力を最大限に磨き上げ、地域内外に発信することとしており、その根底にも、やはり日本遺産のストーリーが位置付けられているところである。

人吉球磨地域において、国・県・各自治体及び民間事業者等が、公民連携により災害からの復興と地域の再生に一体となって取り組んでいくことは、日本遺産「相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里～」の保存・継承に欠かせないものであり、各個別事業や取組において、最大限有効かつ適切に「保存と活用」が図られるべきと考える。

以上を踏まえ、今後、日本遺産を活用した「観光地域づくり」を行うことにより実現したい姿（ビジョン）は以下のとおりである。

#### ○来訪者

日本遺産のストーリーに豪雨災害の復興が重なる形の地域独自のコンテンツが形成され、災害を乗り越えた「相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里」を感じる観光コンテンツ、サービス、プロダクトを理解、共感し、かつ、楽しんでいる。

#### ○地域住民

生活と共にある構成文化財が地域の風土や文化を形成し、地域に豊かさをもたらしていることを、誰もが誇りと愛着を持って学び、伝え合う。また、消費者として地域観光コンテンツや商品を楽しむことができる。

#### ○民間事業者等

日本遺産の保存や活用の当事者となる事業者が増え、公民連携した形で保存と活用に関する地域の新規のビジネスが生み出され、専門的な知見などが蓄積され地域経済への循環とともに、資源の保存・継承に活かす好循環が生み出されていることで、各事業者等が日本遺産ストーリーを活用した「観光地域づくり」に貢献している。

#### ○行政

行政においては、地域の長期構想との関連として、全ての構成市町村の総合計画において、地域全体で文化財の保全や継承に努めるとともに、日本遺産ストーリーを活用した「観光地域づくり」を目指すためのハード・ソフト整備等が位置づけられ、各事業が進められている。また、日本遺産を活かした観光商品の開発により地域経済の活性化を行い、地域の交流人口を拡大させ、文化観光の持続可能な仕組みが構築されている。

併せて今後の計画を策定するにあたり、各種関連会議への参画により日本遺産への関連付けを明確化し、地域の発展と、人吉球磨地域への誇りと愛着の向上が図られている。

## （２）地域活性化計画における目標

※各目標に対し、複数の指標を設定可

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること

指標①－Ａ：日本遺産構成文化財主要施設への観光入込客数

| 年度                      | 実績                       |                                                                                                                                                                                                      |                                               |          |          |          |
|-------------------------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|----------|----------|----------|
|                         | 2021                     | 2022                                                                                                                                                                                                 | 2023                                          |          |          |          |
| 数値                      | 4,878 人<br>(データ欠損<br>月有) | 30,473 人                                                                                                                                                                                             | 36,670 人<br>(国宝記念館<br>11/10 オープン～<br>2/18 現在) |          |          |          |
| 年度                      | 目標                       |                                                                                                                                                                                                      |                                               |          |          |          |
|                         | 2024                     | 2025                                                                                                                                                                                                 | 2026                                          | 2027     | 2028     | 2029     |
| 数値                      | 46,500 人                 | 60,683 人<br>歴史館オープン                                                                                                                                                                                  | 66,143 人                                      | 72,094 人 | 78,580 人 | 85,650 人 |
| 指標・目標値の設定の<br>考え方及び把握方法 |                          | <p>（指標）入館者の把握が容易な、青井の社国宝記念館・人吉城歴史館・球磨川くだり（HASSENBA）・球磨焼酎ミュージアム白岳伝承蔵・織月城見蔵への入込客数の合計。</p> <p>（目標値）熊本県観光統計における 2020 年～2022 年の人吉球磨地域への観光客入込数の平均伸び率（9%）ずつ増加する見込みに 2025 年リニューアルオープンする人吉城歴史館の推測入館者を加えた。</p> |                                               |          |          |          |

目標①：地域住民や国内外からの来訪者が日本遺産のストーリーに触れ、その魅力を体験すること

指標①－Ｂ：日本遺産構成文化財を含む旅行商品参加者数

| 年度                      | 実績   |                                                                                                                           |       |       |       |       |
|-------------------------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
|                         | 2021 | 2022                                                                                                                      | 2023  |       |       |       |
| 数値                      | 0 人  | 2 人                                                                                                                       | 39 人  |       |       |       |
| 年度                      | 目標   |                                                                                                                           |       |       |       |       |
|                         | 2024 | 2025                                                                                                                      | 2026  | 2027  | 2028  | 2029  |
| 数値                      | 60 人 | 90 人                                                                                                                      | 135 人 | 202 人 | 303 人 | 454 人 |
| 指標・目標値の設定の<br>考え方及び把握方法 |      | <p>（指標）（一社）人吉球磨観光地域づくり協議会が管理する日本遺産関連の旅行商品群のうち日本遺産構成文化財を含む商品（体験メニュー含む）の参加者数。</p> <p>（目標値）2023 年度実績を基準とし、前年度比 50% ずつ増加。</p> |       |       |       |       |

| 目標②：地域において日本遺産のストーリーが誇りに思われること |       |                                                                                                         |       |       |       |       |
|--------------------------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 指標②：住民意識調査                     |       |                                                                                                         |       |       |       |       |
| 年度                             | 実績    |                                                                                                         |       |       |       |       |
|                                | 2021  | 2022                                                                                                    | 2023  |       |       |       |
| 数値                             | 49%   | 65%                                                                                                     | 72%   |       |       |       |
| 年度                             | 目標    |                                                                                                         |       |       |       |       |
|                                | 2024  | 2025                                                                                                    | 2026  | 2027  | 2028  | 2029  |
| 数値                             | 70%以上 | 70%以上                                                                                                   | 70%以上 | 70%以上 | 70%以上 | 70%以上 |
| 指標・目標値の設定の考え方及び把握方法            |       | <p>（指標）統一フォーマットを作成し、構成市町村が実施する域内イベント等で住民向けアンケートを実施。「誇りがある」、「愛着がある」と答えた人の割合。</p> <p>（目標値）70%以上を維持する。</p> |       |       |       |       |

|                                        |                  |                                                                                                                  |                  |                  |                  |                  |
|----------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること          |                  |                                                                                                                  |                  |                  |                  |                  |
| 指標③－A：6年後に、当地域の観光客の消費額 31,507,000 千円以上 |                  |                                                                                                                  |                  |                  |                  |                  |
| 年度                                     | 実績               |                                                                                                                  |                  |                  |                  |                  |
|                                        | 2021             | 2022                                                                                                             | 2023             |                  |                  |                  |
| 数値                                     | 12,213,000<br>千円 | 15,056,000<br>千円                                                                                                 | 16,411,000<br>千円 |                  |                  |                  |
| 年度                                     | 目標               |                                                                                                                  |                  |                  |                  |                  |
|                                        | 2024             | 2025                                                                                                             | 2026             | 2027             | 2028             | 2029             |
| 数値                                     | 17,887,000<br>千円 | 19,675,000<br>千円                                                                                                 | 21,839,000<br>千円 | 24,459,000<br>千円 | 27,638,000<br>千円 | 31,507,000<br>千円 |
| 指標・目標値の設定の考え方及び把握方法                    |                  | <p>（指標）目標の達成度をわかりやすく評価できるものとし、数値は熊本県観光統計表より当該地域の数値を引用。</p> <p>（目標値）指標①－Aと同様、9%ずつ増加する見込みに毎年観光消費額の伸びを1%加算して算出。</p> |                  |                  |                  |                  |

|                                                                 |              |                                                                                                                                                                                                 |                |                |                |                |
|-----------------------------------------------------------------|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 目標③：日本遺産を活用した事業により、経済効果が生じること                                   |              |                                                                                                                                                                                                 |                |                |                |                |
| 指標③－B：6年後に（一社）人吉球磨観光地域づくり協議会が管理する日本遺産構成文化財を含む旅行商品の売り上げ 450 万円以上 |              |                                                                                                                                                                                                 |                |                |                |                |
| 年度                                                              | 実績           |                                                                                                                                                                                                 |                |                |                |                |
|                                                                 | 2021         | 2022                                                                                                                                                                                            | 2023           |                |                |                |
| 数値                                                              | 0<br>円       | 4,400<br>円                                                                                                                                                                                      | 155,800<br>円   |                |                |                |
| 年度                                                              | 目標           |                                                                                                                                                                                                 |                |                |                |                |
|                                                                 | 2024         | 2025                                                                                                                                                                                            | 2026           | 2027           | 2028           | 2029           |
| 数値                                                              | 240,000<br>円 | 540,000<br>円                                                                                                                                                                                    | 1,080,000<br>円 | 1,616,000<br>円 | 3,030,000<br>円 | 4,540,000<br>円 |
| 指標・目標値の設定の考え方及び把握方法                                             |              | <p>（指標）（一社）人吉球磨観光地域づくり協議会が管理する旅行商品であるため売上管理による把握。</p> <p>（目標値）一人当たり単価×旅行商品参加者数（指標①－B）。</p> <p>2024 年度 4,000 円      2025 年度 6,000 円</p> <p>2026～2027 年度 8,000 円</p> <p>2027～2028 年度 10,000 円</p> |                |                |                |                |

|                                       |      |                                              |      |      |      |      |
|---------------------------------------|------|----------------------------------------------|------|------|------|------|
| 目標④：日本遺産のストーリー・構成文化財の持続的な保存・活用が行われること |      |                                              |      |      |      |      |
| 指標④：日本遺産の構成文化財が棄損滅失していない割合            |      |                                              |      |      |      |      |
| 年度                                    | 実績   |                                              |      |      |      |      |
|                                       | 2021 | 2022                                         | 2023 |      |      |      |
| 数値                                    | 100% | 100%                                         | 100% |      |      |      |
| 年度                                    | 目標   |                                              |      |      |      |      |
|                                       | 2024 | 2025                                         | 2026 | 2027 | 2028 | 2029 |
| 数値                                    | 100% | 100%                                         | 100% | 100% | 100% | 100% |
| 指標・目標値の設定の考え方及び把握方法                   |      | (指標) 目標にある「保存」の度合いを測るもの。<br>(目標値) 2023 年を維持。 |      |      |      |      |

|                             |                |                                                                                                                                |                |                |                |                |
|-----------------------------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 目標⑤：地域への経済効果も含め広く波及効果が生じること |                |                                                                                                                                |                |                |                |                |
| 指標⑤：人吉球磨地域延べ入込客数            |                |                                                                                                                                |                |                |                |                |
| 年度                          | 実績             |                                                                                                                                |                |                |                |                |
|                             | 2021           | 2022                                                                                                                           | 2023           |                |                |                |
| 数値                          | 1,020,170<br>人 | 1,294,481<br>人                                                                                                                 | 1,410,984<br>人 |                |                |                |
| 年度                          | 目標             |                                                                                                                                |                |                |                |                |
|                             | 2024           | 2025                                                                                                                           | 2026           | 2027           | 2028           | 2029           |
| 数値                          | 1,537,972<br>人 | 1,676,389<br>人                                                                                                                 | 1,827,264<br>人 | 1,991,717<br>人 | 2,170,971<br>人 | 2,366,358<br>人 |
| 指標・目標値の設定の考え方及び把握方法         |                | (指標) 目標の達成度をわかりやすく評価できるものとし、数値は熊本県観光統計表より当該地域の数値を引用。<br>(目標値) 熊本県観光統計における 2020 年～2022 年の人吉球磨地域への観光客入込数の平均伸び率(9%) ずつ増加する見込みで算出。 |                |                |                |                |

### (3) 地域活性化のための取組の概要

これまで、人吉球磨 10 の構成市町村や熊本県、民間団体等で構成する人吉球磨日本遺産活用協議会（以下、「日活協」という。）及び（一社）人吉球磨観光地域づくり協議会（以下、「観地協」という。）を中心に、以下の取組みを行い一定の成果をあげてきた。

#### 【日活協の取組】

- ① 観光案内人養成講座や高校での外部講師による日本遺産関連授業実施などの人材育成
- ② 構成文化財説明板の設置、多言語対応、トイレ整備など来訪者のための整備
- ③ フットパスなどの学習体験を通じた児童生徒や地域住民などへの普及啓発
- ④ 日本遺産関連情報発信のためのイベント実施

#### 【観地協の取組】

構成団体である行政や観光・経済団体と連携し、観光地域づくり戦略に基づき、観光による「稼ぐ力」を高め、「共創力」を基盤とする地域経営の視点に立った観光地域づくりに取り組んだ。

#### ＜豪雨災害の経験を活かした防災プログラム＞

令和 2 年 7 月豪雨により被災した地域の経験と復興の歩みを伝承する「防災プログラム」ツアーを人吉温泉観光協会が企画・販売し、被災した構成文化財に係る青井阿蘇神社、温泉宿、球磨焼酎蔵の方々が語り部となり、復興の道を語る中で日本遺産構成文化財の地域貢献、地域の人々の愛着、地域経済への貢献度を共有する場となっている。

#### ＜日本遺産を活用したインバウンド誘客＞

- ① インバウンド誘客については、経済効果、持続性の観点から高付加価値・高単価のツアーを開発し、販売・手配体制を整備し、誘客プロモーションを展開している。タイトルは The village with the greatest wealth of hidden treasures in Japan: Hitoyoshi Kuma とし、「日本でもっとも豊かな隠れ里」の地域イメージの発信に努めた。ツアーには青井阿蘇神社をはじめ構成文化財が組み込まれ、通訳ガイドの説明を通して、訪問客に資源の歴史や価値の理解などを伝える形となっている。
- ② インバウンドに向け、文化財の多言語解説を整備した。選定した 10 カ所の構成文化財に英語、中国語（簡体字、繁体字）を整備するとともに VR 方式で映像コンテンツを製作し、資源の理解と魅力を伝えるとともに WEB サイト「人吉球磨で出会える日本遺産」を整備し、文化財に対する評価や理解度を把握できるようにした。
- ③ 人吉球磨が舞台となった人気アニメ「夏目友人帳」による国内外からの来客対策の中で、特にタクシーガイドと巡るタクシープランは、多くのファン層の利用が続いており、行先の多くが構成文化財であり、課題である文化財へのアクセス対策として有効だけでなく高価格販売を可能にして地域経済へも貢献する商品となっている。

#### 【球磨焼酎組合の取組】

- ① 海外ではまだ認知度が低い球磨焼酎を売り込むため海外で営業や PR 活動を展開し、アメリカ・イギリス・シンガポール市場等で販路開拓に成功している。

しかし、各取組みについては以下のような課題があるため、課題解決に向けて今後次のような取組みを行う。

## 【課題】

### ① 保全整備後の周知方法

既設置の構成文化財説明板等について、設置場所の関係で来訪者に認識されにくいものが存在している。いかに来訪者に認識してもらうか、周知方法の検討が必要である。

### ② 学習体験成果の数値化

学習体験実施後に学習体験者が日本遺産をどれほど理解したか把握できておらず、今後の取組みに反映できていないため、数値化する手段を検討する必要がある。

### ③ 独自コンテンツの開発

体験プログラムや商品の開発において、災害の体験や文化財の価値への結びつきなど独自性のあるコンテンツがまだまだ少なく、関係者の発掘も十分ではない。

### ④ 複数の販売窓口

商品紹介・販売の窓口が複数の事業体にまたがり、分かりにくい状況となっている。また、文化財の多言語解説サイト「人吉球磨で出会える日本遺産」の機能や、サイトへの誘導策など活用上の課題がある。

### ⑤ 交通インフラの未復旧

豪雨災害後、アクセスの鉄道路線の運休が続く中、自動車や鉄道以外の交通機関を前提とした誘客対策が求められている。

## 【課題解決に向けた今後の取組】

### ① 構成市町村において、既設置の構成文化財説明板等について、再度設置状況の確認を実施し、改善の必要があれば対応を検討する。

### ② 学習体験後等のアンケート実施

受講者に対し、100%を上限とした日本遺産の理解度などを盛り込んだアンケートを実施する。アンケート結果については今後の取組における参考数値として活かしていく。

### ③ ツアー開発では、観光協会や案内人協会等の横連携を強化し、資源の発掘や関係者の発掘に改めて取組み、「日本でもっとも豊かな隠れ里」をテーマに、災害を乗り越えた構成文化財と地域の生活・文化の繋がりを軸に、高価格帯且つ長期滞在の視点で開発を進める。

### ④ ツアーの受入れ体制については、観地協のHPを窓口として各事業者の予約サイトを繋ぐ一本化の作業を進めて行く。

「人吉球磨で出会える日本遺産」サイトの改修への誘導策を早急に進め、多言語対応の構成文化財に対する理解度や感想などの情報収集体制を整備し、訪問客との繋がりを持った日本遺産活用を図っていく。併せて日活協としても費用を極力使わずに情報発信が行えるように、各自治体のホームページの活用や公式 SNS の開設等の手段を検討する。

### ⑤ 交通アクセス対策として、地元交通事業者のつばめ交通(株)が2024年9月から鹿児島空港と人吉市内を直接高速バスで繋ぐ「つばめエアポートライナー」の運行を開始したことを機に、アクセス機能と連携した商品の開発を更に充実させ、来客を図っていく。また、関西と大分や鹿児島を結ぶフェリー会社と観光客の誘客で連携する協議を開始しており、商品開発に繋げていく。

#### (4) 実施体制

日活協が当地域の日本遺産活用推進を統括している。

日本遺産の観光活用による地域活性化については、人吉球磨10の構成市町村と各経済・観光団体等で構成された観地協が、観光地域づくり戦略の基本方針として『観光による「稼ぐ力」を高め、「共創力」を基盤とする地域経営の視点に立って取り組む』を掲げ、その役割を担っている。また、推進役については、観地協を筆頭として、各理事や全ての構成市町村、民間団体・事業者と連携を取りながら、各種事業に取り組む体制となっている。

そして、取組を行う目的に応じ、主に「保全＝文化財を価値づけし、価値を保全し、周知する」と「活用＝文化財の価値を活用する」の二つに分類・整理する。

また、人吉球磨定住自立圏共生ビジョンにも文化財保護活用事業として位置づけし、文化遺産を面として捉え、観光素材としての磨き上げと活用を図るため、効果的な情報発信や観光部門との連携強化に努めている。

##### 【民間団体・民間事業者との連携】

連携する民間団体は、理事として参画する人吉温泉観光協会をはじめ、人吉商工会議所、人吉球磨地区商工連絡協議会、球磨地域農業協同組合、また、人吉温泉観光協会のほか各町村の観光協会と連携体制を構築している。

民間事業者は、ツアー開発において、商品を構成するコンテンツの事業者、販売・手配・催行などオペレーション事業者等との連携を取りながら進めている。（神社仏閣関係者、球磨焼酎蔵、お茶生産・販売事業者、球磨川くだり（株）、球磨川ラフティング協会など）

以上ではあるが、(7)－1 組織整備にも記載したとおり、今後、計画の円滑な実施のため、関係者間の調整や取組の実行を担い全体を総括する組織や、部会・ワーキンググループ等、体制の再整備・強化を行う予定としている

##### 【人材育成・確保の方針】

人吉球磨定住自立圏構想に掲げる歴史学習や各種出前講座による学習機会を確保し、地域の歴史や文化を学ぶことにより、ふるさとへの愛着の醸成や将来の担い手確保に繋げていく。案内人講座への協力による案内人育成、民間事業者による有償ガイド（タクシー事業、バス事業）への研修協力等により幅広い人材育成に取り組む。

また、プロジェクトマネジメントやコミュニケーションスキル、地域資源の活用方法など、幅広い分野にわたる研修、実践的なフィールドワークの機会提供などを通じて、地域プロデューサーの育成を図る。

## (5) 日本遺産の取組を行う組織の自立・自走

### 【認定されたストーリーがどのように継続的に、地域に浸透するか】

日本遺産の保全については日活協が、活用については観地協がそれぞれ実施主体となつて関係機関と連携し、地方創生推進交付金等を活用して事業に取り組んできた。

#### ■日活協

##### ①構成文化財復旧のための財源確保

令和2年7月豪雨により甚大な被害に遭った人吉市において、ふるさと納税制度を利用したGCF（ガバメントクラウドファンディング）を活用し被災した「人吉温泉」の復旧を実施している。（二つのポータルサイトにより実施し、合計寄附額 14,292,423 円）

##### ②シビックプライドの醸成

「青井阿蘇神社の蓮池再生プロジェクト」には行政、地元企業、地域住民、高校生、ボランティア等が参加し、青井阿蘇神社や周辺の清掃、蓮の保全救出及び根付けを実施した。

##### ③限られた財源の中での日本遺産構成文化財の有効活用

被災後明かりが少なくなった街の灯りを照らすため「あかりの社会実験」で青井阿蘇神社や人吉城跡などの構成文化財を活用し「あかり」「ライティング」という要素を組合せ新たな集客方法として確立しつつある。

#### ■観地協

##### ①日本遺産を活用した広域観光施策への自治体の支援継続

日本遺産活用の推進役として、今後も広域観光施策が必要との共通認識を前提とするとともに日本遺産を活用した地域活性化、そのための誘客ツアー開発・プロモーション等の継続も合意されており、構成市町村からの負担金を財源の基本として取組みを継続していく。

##### ② 自主財源確保

併行して観地協の自主財源確保に向け、旅行ビジネスとして、ツアーコンテンツの販売やランドオペレーター業務などの実施体制整備、また、これまでの財源となった企業版ふるさと納税など寄付金、また、行政等からの業務受託などを進め、収益増を目指していく。

#### 【継続的な担い手の育成】

地域の未来を担う児童・生徒を対象とした日本遺産に関する学習や体験などの継承を通して地域への誇りと愛着の向上に努め、世代を超えた継続的な地域の担い手の育成を図り地域住民が日本遺産の魅力を再認識し、協働による地域力を最大限に発揮するため、住民全員が案内人を目指す。

#### 【継続的な民間事業の巻き込み】

地域住民の心の拠り所といえる日本遺産の保全、活用、復旧・復興まちづくりについては、公民一体となって活動に取り組む。

球磨焼酎蔵ツーリズム協議会は、球磨焼酎蔵体験を観光コンテンツとして販売しており、施設の改修とあわせたツアーの磨き上げ・商品化を進め、球磨焼酎の売上げへの効果と併せて地域経済への貢献となっている。球磨川活用の筆頭である球磨川くだり株式会社は、豪雨災害からいち早く復興に取り組み、拠点のHASSENBAの改修によって集客力を高め、「梅花の渡し」や「球磨川下り」の他、ラフティングやサイクルツアーの商品を展開しており、観光の看板商品となっている。また、相良三十三観音協議会や人吉球磨はひなまつり実行委員会など構成文化財を活かす事業実施団体は高齢化などの課題を抱えているが、

公民の共同体制で事業の継続・発展に努めている。インバウンド向けの体験コンテンツの一つ、「兵法タイ捨流」について、今後、更に、保存会と連携を強化し、武士道体験の場を構成文化財である神社やお寺を中心に会場を拡大し、保存や伝承の継続に繋げていく。

#### （６）構成文化財の保存と活用の好循環の創出に向けた取組

##### ■球磨焼酎蔵の保存と活用

・球磨焼酎蔵ツーリズム協議会は焼酎蔵の観光活用を目的に設立された組織であり、複数の蔵元が試飲やブレンド体験、仕込み体験をより充実させるため、蔵の改造を計画しており、より満足度の高いコンテンツとして活用し、収益も高めることで保存と活用の好循環が見込まれる。

・同協議会は観地協を通じた地域観光事業に売り上げの一部の寄付を行っており、更なる日本遺産活用への循環を生み出している。

##### ■デジタル技術の活用

・文化財のデジタルアーカイブ化を推進し、オンラインでの展示（人吉城歴史館の「地下室遺構」３Ｄ化）や情報提供を行うことで、広く知られる機会を増やす（現在、人吉城歴史館の「地下室遺構」３Ｄ化モデルを人吉市ＨＰで公開中）。

・現在復旧中の人吉城歴史館を市民や来訪者の歴史学習の拠点として、学校や地域の連携のもと、郷土の歴史学習支援及び日本遺産の魅力発信拠点として、その機能を更に充実していく。

・普段は非公開の神社仏閣の内部まで疑似訪問できるよう、構成文化財の VR 映像を作成した。人吉市観光案内所では来訪者が VR ゴーグルより VR 体験可能であるほか、動画サイトでも広く公開しており、当地域来訪の旅前の装置として機能している。

##### ■教育プログラムの充実

・学校や校区コミセンと連携して、日本遺産構成文化財に関する教育プログラムを拡充し、若い世代に日本遺産の価値を伝える取組みを行う。

##### ■地域住民参加型のプロジェクト

・地元住民やボランティアを積極的に巻き込んだ日本遺産構成文化財保存活動を推進し、地元コミュニティの一体感を高める。

・地域住民が主体となって日本遺産構成文化財の保護や修復作業に参加できるようなプログラムを展開し、地域ぐるみの取組を促進する。

##### ■持続可能な運営体制の構築

・現在実施中であるふるさと納税は、歴史や文化資源を保存・活用するための事業として、構成文化財の保存整備事業に活用しているが、更なる文化財保存のための資金調達策や運営体制の整備を行い、長期的な視点での持続可能な取組を確立する。

・企業版ふるさと納税を活用した財源確保のため、民間企業への働きかけを実施し民間資金の有効活用を図る。

・地域自治体や民間の関係団体と連携して、日本遺産構成文化財の保存及び活用に向けた戦略的な計画策定や運営体制の強化を図る。

以上の取組みを総合的に推進し、日本遺産関連事業の実施によるシビックプライドの醸成が地域活性化を実現するものであると捉え、関連団体が同じ共通認識を持ち、人吉球磨における構成文化財の保存と活用の好循環を生み出していく。

(7) 地域活性化のために行う事業

(7) - 1 組織整備

(事業番号 1 - A)

| 事業名  | 広域活用を実現する連携体制の整備                                                                           |                                                                                                                                           |                                |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 概要   | 構成文化財が広く存在する当地域で、更に日本遺産ストーリーを活用したツアー開発は単独での活動より広域連携が不可欠と考えており、域内の観光団体や案内人協会などの横連携の体制を整備する。 |                                                                                                                                           |                                |
|      | 取組名                                                                                        | 取組内容                                                                                                                                      | 実施主体                           |
| ①    | 域内観光団体の連携                                                                                  | 域内各構成市町村の観光協会等の役割を明確化し、相互に連携した日本遺産の活用を可能にする組織を整備し、取組の広域化を図る。                                                                              | 観地協<br>観光協会                    |
| ②    | 観光ガイド協会の組織化                                                                                | 域内市町村に組織される観光案内人の会は、日本遺産ストーリーの展開やシビックプライドの醸成を進める上でも役割は重要であり、総合窓口などより連携した活動のための組織を整備する。                                                    | 観地協<br>観光案内人協会                 |
| ③    | 事業の全体総括を行う組織体制の再整備・強化                                                                      | 計画の円滑な実施のため、関係者間の調整や取組の実行を担い、全体を総括する組織体制の再整備・強化を行う。<br>令和 6 年度当初から全ての構成市町村の首長を含め、現組織体制の課題を共有し協議を進めている。年度内の課題の解決及び組織体制の再整備を目指し鋭意調整しているところ。 | 日活協                            |
| 年度   | 事業評価指標                                                                                     |                                                                                                                                           | 実績値・目標値                        |
| 2021 | 組織体制における行政組織内外での連携状況                                                                       |                                                                                                                                           | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |
| 2022 |                                                                                            |                                                                                                                                           | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |
| 2023 |                                                                                            |                                                                                                                                           | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |
| 2024 | 組織体制における行政組織内外での連携状況                                                                       |                                                                                                                                           | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |
| 2025 |                                                                                            |                                                                                                                                           | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |
| 2026 |                                                                                            |                                                                                                                                           | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |
| 2027 |                                                                                            |                                                                                                                                           | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |
| 2028 |                                                                                            |                                                                                                                                           | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |

|                |                                                                                                        |  |                                |
|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--------------------------------|
| 2029           |                                                                                                        |  | 行政内部の連携:12 部局<br>民間組織の参画:24 団体 |
| 事業費            | 2024 年度 : 0 円                      2025 年度 : 300 千円                      2026 年度 : 300 千円              |  |                                |
| 継続に向けた<br>事業設計 | ○各観光協会の連携<br>・機能に応じた役割分担、広域で連携したツアーオペレーション体制の整備など。<br>○各観光ガイド協会の連携<br>・総合窓口の一本化、連携したガイド育成、広域的なツアー企画など。 |  |                                |
| 事業費            | 2027 年度 : 0 円                      2028 年度 : 0 円                      2029 年度 : 0 円                    |  |                                |
| 継続に向けた<br>事業設計 | より効果的な体制となるよう、見直しを継続する。                                                                                |  |                                |

(事業番号 1－B)

|                |                                                                                     |                                            |               |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------------|
| 事業名            | 計画に基づく事業の企画・実施に必要な財源の確保                                                             |                                            |               |
| 概要             | 事業の企画・実施を行うために必要な財源の確保                                                              |                                            |               |
|                | 取組名                                                                                 | 取組内容                                       | 実施主体          |
| ①              | 計画に基づく事業の企画・実施に必要な財源の確保                                                             | ふるさと納税やクラウドファンディングなど、日本遺産整備に資する外部資金の獲得を行う。 | 日活協           |
| 年度             | 事業評価指標                                                                              |                                            | 実績値・目標値       |
| 2021           | ① ふるさと納税やクラウドファンディングなどの日本遺産整備に資する資金の獲得状況                                            |                                            | ①   －   ②7 件  |
| 2022           |                                                                                     |                                            | ② 2 件   ②8 件  |
| 2023           | ② 日本遺産整備等に資する国の予算事業の活用状況                                                            |                                            | ① 11 件   ②8 件 |
| 2024           | ① ふるさと納税やクラウドファンディングなどの日本遺産整備に資する資金の獲得状況                                            |                                            | 各 2 件／6 か年    |
| 2025           |                                                                                     |                                            |               |
| 2026           |                                                                                     |                                            |               |
| 2027           |                                                                                     |                                            |               |
| 2028           |                                                                                     |                                            |               |
| 2029           |                                                                                     |                                            |               |
| 2029           | ② 日本遺産整備等に資する国の予算事業の活用状況                                                            |                                            |               |
| 事業費            | 2024 年度 : 0 円                      2025 年度 : 0 円                      2026 年度 : 0 円 |                                            |               |
| 継続に向けた<br>事業設計 | 活性化計画に基づく事業を実施するための財源をいろいろなチャンネルから確保する。                                             |                                            |               |
| 事業費            | 2027 年度 : 0 円                      2028 年度 : 0 円                      2029 年度 : 0 円 |                                            |               |
| 継続に向けた<br>事業設計 | 活性化計画に基づく事業を実施するための財源をいろいろなチャンネルから確保する。                                             |                                            |               |

( 7 ) - 2 戦略立案

(事業番号 2 - A)

|            |                                                                                         |                                                              |                |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|----------------|
| 事業名        | 他の行政計画への位置付け                                                                            |                                                              |                |
| 概要         | 将来像の実現に向けた短期的・中長期的な戦略の立案を行うため、他の行政計画への位置づけを行う。                                          |                                                              |                |
|            | 取組名                                                                                     | 取組内容                                                         | 実施主体           |
| ①          | 構成市町村総合計画等への記載                                                                          | 日本遺産の趣旨を踏まえ、構成市町村の各種の行政計画と日本遺産の関係性を整理し、構成市町村の長期的構想への組み込みを行う。 | 全ての構成市町村       |
| 年          | 事業評価指標                                                                                  |                                                              | 実績値・目標値        |
| 2021       | 日本遺産について記載した行政計画・構想の件数                                                                  |                                                              | 8 件            |
| 2022       |                                                                                         |                                                              | 8 件            |
| 2023       |                                                                                         |                                                              | 8 件            |
| 2024       | 日本遺産について記載した行政計画・構想の件数                                                                  |                                                              | 9 件            |
| 2025       |                                                                                         |                                                              | 9 件            |
| 2026       |                                                                                         |                                                              | 10 件           |
| 2027       |                                                                                         |                                                              | 10 件           |
| 2028       |                                                                                         |                                                              | 10 件           |
| 2029       |                                                                                         |                                                              | 10 件           |
| 事業費        | 2024 年度 : 0 千円                                                                          | 2025 年度 : 0 千円                                               | 2026 年度 : 0 千円 |
| 継続に向けた事業設計 | 総合計画等に日本遺産を位置付けていない構成市町村にあつては、位置づけを行い、活性化計画期間内に総合計画等の改定を迎える構成市町村にあつては、改めて計画に日本遺産を位置付ける。 |                                                              |                |
| 事業費        | 2027 年度 : 0 千円                                                                          | 2028 年度 : 0 千円                                               | 2029 年度 : 0 千円 |
| 継続に向けた事業設計 | 活性化計画期間内に、総合計画等の改定を迎える構成市町村にあつては、改めて計画に日本遺産を位置付ける。                                      |                                                              |                |

(事業番号 2 - B)

|     |                                                 |                                                                                        |            |
|-----|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 事業名 | 日本遺産活用進捗管理 (PDCA サイクル運用)                        |                                                                                        |            |
| 概要  | 各事業の目標値、事業計画について共有し、関係団体ごとに実施している事業の進捗状況確認等を行う。 |                                                                                        |            |
|     | 取組名                                             | 取組内容                                                                                   | 実施主体       |
| ①   | ワーキンググループによる協議・情報共有                             | 日本遺産の取組みに関する PDCA について、ワーキンググループにおいて、定期的に協議・情報共有を行う。                                   | 日活協        |
| ②   | 目標値の達成状況把握のための調査                                | 地域活性化計画において設定した 5 つの目標や取組み毎に設定した目標の達成状況を把握するため、各構成団体等が把握している観光客入込み数や施設の入場者数、ホームページのアクセ | 日活協<br>観地協 |

|            |                                                                                       | ス件数、観光消費額、認知度、訪問者数等により状況把握を行う                |                |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|----------------|
| ③          | データ分析                                                                                 | 目標値達成状況把握のための調査の報告データに基づきデータ分析を行う。           | 日活協            |
| ④          | 戦略策定                                                                                  | 目標値達成状況把握のための調査報告データを分析し、その結果を基に、今後の戦略を策定する。 | 日活協            |
| 年度         | 事業評価指標                                                                                |                                              | 実績値・目標値        |
| 2021       | 事業の計画・改善を行う会議体の開催頻度                                                                   |                                              | 9 回            |
| 2022       |                                                                                       |                                              | 8 回            |
| 2023       |                                                                                       |                                              | 9 回            |
| 2024       | 事業の計画・改善を行う会議体の開催頻度                                                                   |                                              | 8 回            |
| 2025       |                                                                                       |                                              | 8 回            |
| 2026       |                                                                                       |                                              | 8 回            |
| 2027       |                                                                                       |                                              | 8 回            |
| 2028       |                                                                                       |                                              | 8 回            |
| 2029       |                                                                                       |                                              | 8 回            |
| 事業費        | 2024 年度 : 0 千円                                                                        | 2025 年度 : 0 千円                               | 2026 年度 : 0 千円 |
| 継続に向けた事業設計 | インバウンド観光と地域経済効果を地域内の共通認識として、地域全体の観光評価軸の再認識、地域の住民やコンテンツホルダーの意識啓発、単価に対する再認識を図りながら進めていく。 |                                              |                |
| 事業費        | 2027 年度 : 0 千円                                                                        | 2028 年度 : 0 千円                               | 2029 年度 : 0 千円 |
| 継続に向けた事業設計 | 構成市町村はもちろん、必要に応じて民間団体の出席も求め、PDCA サイクルを回していく。                                          |                                              |                |

| (7) - 3 人材育成 |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              |                                               |
|--------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| (事業番号 3 - A) |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              |                                               |
| 事業名          | 日本遺産活用人材確保の取組み                                                  |                                                                                                                                                                                                                                              |                                               |
| 概要           | 日本遺産を活用する地域人材としての観光ガイド数を一定数確保する。                                |                                                                                                                                                                                                                                              |                                               |
|              | 取組名                                                             | 取組内容                                                                                                                                                                                                                                         | 実施主体                                          |
| ①            | 観光ガイド養成                                                         | 日本遺産を活用した観光案内を実施するためのガイド養成講座等を行う。<br>ガイド養成に当たっては、自身の知識の再確認も兼ねて、最も若い期のガイドが講師を担当し、後輩ガイドを育成する。テキストも先輩ガイド自身が作りこむ。また、実際に稼働できる人のみを会に登録することで組織のスリム化を図る。さらに、ガイド養成講座の募集に当たっては、単なる教養講座と化さないよう、ガイドを目指す方のみ受講可とする。<br>また、現在観光ガイドがいない錦町とあさぎり町でも観光ガイドを養成する。 | 全ての構成市町村<br>人吉観光案内人協会<br>商工会議所<br>観光協会<br>日活協 |
| ②            | 施設・タクシー・ホテル等職員研修                                                | 来訪者の満足度向上、地域内の観光関係事業者に対する日本遺産ストーリーの理解度向上を図るため、ファーストコンタクトとなる施設・タクシー・ホテル等の従業員等を対象として、日本遺産ストーリー・構成文化財に関する研修を行う。                                                                                                                                 | 日活協                                           |
| ③            | 球磨焼酎案内人講座                                                       | 構成文化財の一つである球磨焼酎を語り伝える人の養成を図るため、「球磨焼酎案内人講座」を開催する。外国人向けにも同様の講座を開催し、案内人を養成する。                                                                                                                                                                   | 熊本県<br>各酒造会社                                  |
| 年度           | 事業評価指標                                                          |                                                                                                                                                                                                                                              | 実績値・目標値                                       |
| 2021         | 地域人材による観光ガイド数                                                   |                                                                                                                                                                                                                                              | 未集計                                           |
| 2022         |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              | 未集計                                           |
| 2023         |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              | 未集計                                           |
| 2024         | 地域人材による観光ガイド数                                                   |                                                                                                                                                                                                                                              | 94 人                                          |
| 2025         |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              | 100 人                                         |
| 2026         |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              | 105 人                                         |
| 2027         |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              | 110 人                                         |
| 2028         |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              | 115 人                                         |
| 2029         |                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                              | 120 人                                         |
| 事業費          | 2024 年度：150 千円      2025 年度：150 千円      2026 年度：150 千円          |                                                                                                                                                                                                                                              |                                               |
| 継続に向けた事業設計   | 地域内外の人々がストーリーを身近に体験できるものとして観光案内ガイドは必須の事業ととらえており、今後も継続的な活動を展開する。 |                                                                                                                                                                                                                                              |                                               |

|           |                                                        |  |  |
|-----------|--------------------------------------------------------|--|--|
| 事業費       | 2027 年度：150 千円      2028 年度：150 千円      2029 年度：150 千円 |  |  |
| 継続に向けた事業設 | 当地域の魅力発信のベースとして内容の拡充を目指す。                              |  |  |

(事業番号 3－B)

|            |                                                     |                                                                    |                                             |
|------------|-----------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 事業名        | 日本遺産活用人材育成の取組み                                      |                                                                    |                                             |
| 概要         | 日本遺産を活用する人材を育成するため、ワークショップ等を行う。                     |                                                                    |                                             |
|            | 取組名                                                 | 取組内容                                                               | 実施主体                                        |
| ①          | 観光ガイドリカレント事業                                        | 日本遺産を活用した観光案内を実施するため、ガイドを対象として地域活性化のためワークショップなど人材育成活動を行う。          | 全ての構成市町村<br>観光案内人協会<br>商工会議所<br>観光協会<br>日活協 |
| ②          | ウィキペディアタウンの開催                                       | 日本遺産のウィキペディア記載内容を充実させるため、地域住民や生徒・児童を対象としたウィキペディアタウン（ワークショップ）を開催する。 | 日活協                                         |
| 年度         | 事業評価指標                                              |                                                                    | 実績値・目標値                                     |
| 2021       | 地域活性化のための人材育成活動の実施数                                 |                                                                    | 未集計                                         |
| 2022       |                                                     |                                                                    | 未集計                                         |
| 2023       |                                                     |                                                                    | 未集計                                         |
| 2024       | 地域活性化のための人材育成活動の実施数                                 |                                                                    | 4 件                                         |
| 2025       |                                                     |                                                                    | 4 件                                         |
| 2026       |                                                     |                                                                    | 4 件                                         |
| 2027       |                                                     |                                                                    | 4 件                                         |
| 2028       |                                                     |                                                                    | 4 件                                         |
| 2029       |                                                     |                                                                    | 4 件                                         |
| 事業費        | 2024 年度：50 千円      2025 年度：50 千円      2026 年度：50 千円 |                                                                    |                                             |
| 継続に向けた事業設計 | 活躍中のガイドに対してリカレント教育を行い、ガイドのさらなる質の向上を目指す。             |                                                                    |                                             |
| 事業費        | 2027 年度：50 千円      2028 年度：50 千円      2029 年度：50 千円 |                                                                    |                                             |
| 継続に向けた事業設計 | 活躍中のガイドに対してリカレント教育を行い、ガイドのさらなる質の向上を目指す。             |                                                                    |                                             |

(7) - 4 整備

(事業番号 4 - A)

| 事業名 | 日本遺産ストーリーに関する施設設備整備事業                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                 |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 概要  | ストーリーの体験に必要なとなる解説等の充実のため、拠点となる施設設備の整備を実施する。地域内外の人々に日本遺産のストーリーを体験してもらう事業を行う為に必要となる基盤整備を行う。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                 |
|     | 取組名                                                                                       | 取組内容                                                                                                                                                                                                                                                                            | 実施主体            |
| ①   | 人吉城歴史館日本遺産情報発信機能リニューアル                                                                    | 人吉城歴史館に日本遺産エントランスセンターの機能を持たせる。館内入り口に日本遺産コーナーを設置し、構成文化財に関する様々な情報を、QRコードを活用した多言語データで発信し、国内外の来館者の理解に繋げる。併せて相良 700 年シアターやたいけん広場、令和 2 年 7 月豪雨災害からの復興の軌跡などを展示し、幅広い年齢層の誘客につなげる。<br>人吉駅（観光案内所）、青井阿蘇神社（国宝記念館）のガイダンス施設と回遊動線が繋がり、他の地区への効果が波及することが期待される。今後、くま川鉄道や JR 肥薩線の復旧が進めば更なる波及効果も大きい。 | 人吉市             |
| ②   | ストーリーの全体像を伝える日本遺産コーナーの設置・リニューアル                                                           | 来訪者に日本遺産のストーリーを紹介し、興味を持ってもらうため、地域内の物産施設や協力店舗等に、日本遺産のストーリーを紹介・旬な情報を提供する日本遺産コーナーの設置（既設置店舗についてはリニューアル）を行う。                                                                                                                                                                         | 日活協             |
| ③   | 自転車通行帯等の表示整備                                                                              | 来訪者の利便性向上のため、自転車利用者が周遊する際の利便性向上のため、矢羽根等自転車通行帯の表示整備を行う。                                                                                                                                                                                                                          | 熊本県             |
| ④   | 構成文化財等における解説内容の拡充                                                                         | 既存看板に解説がないまたは既存解説の内容が簡素な構成文化財について、詳しい内容の解説を作成しホームページに掲載するとともに、現地看板に詳しい解説を付す代替として、詳しい内容の解説を掲載したホームページに誘導するための耐候性の QRコードシールを作成し、構成文化財の既存看板に貼付する。                                                                                                                                  | 全ての構成市町村<br>日活協 |
| ⑤   | 構成文化財へのアクセス情報の整備                                                                          | 「人吉球磨ガイド」のサイトの改修を予定。構成文化財の紹介に併せて、配置状況とアクセス・交通手段を合わせた情報提供し、利便性を高めていく。                                                                                                                                                                                                            | 観地協             |

|            |                                                                           |                                                                                 |         |
|------------|---------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|---------|
| ⑥          | 展示パネルのリニューアル                                                              | 日本遺産のストーリーや構成文化財、観光情報を域内住民や児童・生徒等に紹介するために作成した現行の展示パネルは作成してから時間が経っているため、内容を更新する。 | 日活協     |
| 年度         | 事業評価指標                                                                    |                                                                                 | 実績値・目標値 |
| 2021       | ① 日本遺産の全体を理解できるガイダンス施設の数                                                  | ① 3 件②100%③未集計                                                                  |         |
| 2022       | ② ストーリーや構成文化財の案内・解説板の整備数                                                  | ① 3 件②100%③未集計                                                                  |         |
| 2023       | ③ 整備状況に対する観光客の満足度                                                         | ① 3 件②100%③未集計                                                                  |         |
| 2024       | ① 日本遺産の全体を理解できるガイダンス施設の数<br>② ストーリーや構成文化財の案内・解説板の整備数<br>③ 整備状況に対する観光客の満足度 | ①4 件②100%③60%                                                                   |         |
| 2025       |                                                                           | ①4 件②100%③60%                                                                   |         |
| 2026       |                                                                           | ①4 件②100%③60%                                                                   |         |
| 2027       |                                                                           | ①4 件②100%③60%                                                                   |         |
| 2028       |                                                                           | ①4 件②100%③60%                                                                   |         |
| 2029       |                                                                           | ①4 件②100%③60%                                                                   |         |
| 事業費        | 2024 年度：2 億円 2025 年度：1,000 千円 2026 年度：1,000 千円                            |                                                                                 |         |
| 継続に向けた事業設計 | 人吉城歴史館は 2024 年度にガイダンス施設の実施設設計、工事を実施予定。                                    |                                                                                 |         |
| 事業費        | 2027 年度：1,000 千円 2028 年度：1,000 千円 2029 年度：1,000 千円                        |                                                                                 |         |
| 継続に向けた事業設計 | 構成市町村の予算に加え、国、県の補助金を活用し、ハード及びソフト整備を計画的に進める。                               |                                                                                 |         |

(事業番号 4-B)

|      |                                            |                                            |             |
|------|--------------------------------------------|--------------------------------------------|-------------|
| 事業名  |                                            | 構成文化財等保全等事業                                |             |
| 概要   |                                            | 構成文化財を継続的に維持管理・活用していくため、日本遺産構成文化財の維持管理を行う。 |             |
|      | 取組名                                        | 取組内容                                       | 実施主体        |
| ①    | 構成文化財等保全                                   | 構成文化財の修理・修繕・美装化等を行う                        | 全ての構成市町村    |
| ②    | 文化財保存活用地域計画に基づく保存と活用                       | 文化財保存活用地域計画策定済の地域において計画に基づく構成文化財の保存と活用を行う。 | 多良木町        |
| 年度   | 事業評価指標                                     |                                            | 実績値・目標値     |
| 2021 | ①構成文化財の修理・修繕・美装化等の整備状況                     |                                            | ①11 件 ②100% |
| 2022 |                                            |                                            | ①14 件 ②100% |
| 2023 |                                            |                                            | ①12 件 ②100% |
| 2024 | ①構成文化財の修理・修繕・美装化等の整備状況<br><br>②構成文化財の保全の状況 |                                            | ①10 件 ②100% |
| 2025 |                                            |                                            | ①10 件 ②100% |
| 2026 |                                            |                                            | ①10 件 ②100% |
| 2027 |                                            |                                            | ①10 件 ②100% |
| 2028 |                                            |                                            | ①10 件 ②100% |

|             |                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                         |                                            |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 2029        |                                                                                                                                                                             | ①10件 ②100%                                                                                                                                              |                                            |
| 事業費         | 2024 年度：2,000 千円 2025 年度：2,000 千円 2026 年度：2,000 千円                                                                                                                          |                                                                                                                                                         |                                            |
| 継続に向けた事業設計  | 構成市町村の予算に加え、国の整備補助金等を活用し、適切な維持管理や美装化を継続する。                                                                                                                                  |                                                                                                                                                         |                                            |
| 事業費         | 2027 年度：2,000 千円 2028 年度：2,000 千円 2029 年度：2,000 千円                                                                                                                          |                                                                                                                                                         |                                            |
| 継続に向けた事業設計  | 構成市町村の予算に加え、国の整備補助金等を活用し、適切な維持管理や美装化を継続する。                                                                                                                                  |                                                                                                                                                         |                                            |
| (7)－5 観光事業化 |                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                         |                                            |
| (事業番号5－A)   |                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                         |                                            |
| 事業名         | 経済に寄与する観光商品化事業                                                                                                                                                              |                                                                                                                                                         |                                            |
| 概要          | 日本遺産を活用した観光による地域への経済効果の実現を目指し、開発した富裕層向けサイクルガイドツアー商品の経験を活かし、高価格帯及び滞在の長期化に繋げ、また日本遺産のストーリーが体験できる商品の開発と誘客を目指す。<br>併せて豪雨災害後、アクセスの JR 肥薩線の未復旧の対策として鹿児島空港と人吉市内を直接繋ぐ高速バス路線の運航を開始する。 |                                                                                                                                                         |                                            |
|             | 取組名                                                                                                                                                                         | 取組内容                                                                                                                                                    | 実施主体                                       |
| ①           | サイクルガイドツアーのブラッシュアップ                                                                                                                                                         | 富裕層向けのサスティナブルをテーマとしたサイクルガイドツアーのコンテンツ構成をブラッシュアップし、満足度の高い、高価格商品の充実を図る。                                                                                    | 観地協<br>観光協会<br>日活協                         |
| ②           | 球磨焼酎蔵ツーリズムの高付加価値化・高価格化                                                                                                                                                      | いくつかの蔵元によるツーリズム対応の施設改修を機に、球磨焼酎に関する学びや酒蔵の体験などをブラッシュアップし、高価格帯の体験商品の開発に取り組む。                                                                               | 球磨焼酎蔵ツーリズム協議会<br>民間事業者外                    |
| ③           | 観光ガイドと巡るツアーの開発                                                                                                                                                              | 歴史文化財や球磨焼酎蔵、農業体験等の日本遺産ストーリーを伝える商品企画を行う。併せて、通訳ガイドの育成及び観光協会のオペレーションによるツアー運営体制づくりに取り組む。また、OTA、富裕層を送客する旅行会社へのプロモーションを行い、連携を構築する。                            | 観地協<br>観光協会<br>球磨川くんだり(株)<br>人吉球磨サイクリング倶楽部 |
| ④           | ツアー商品情報・販売体制の一本化                                                                                                                                                            | 開発したツアーの情報や予約・購入までの流れの一本化を図ることで、効率的な商品販売、誘客を図る。                                                                                                         | 観地協                                        |
| ⑤           | 空港アクセスバスを軸とした被災地の観光交通の活性化を目指す実証事業                                                                                                                                           | 令和2年7月豪雨により JR 肥薩線が運休しており観光客の流入は自家用車、レンタカー、高速バスに限られているが、特に高速バスに関しては空港アクセスを目的としておらず、数時間の待ち時間が発生しており利便性が悪い。実施主体が人吉市～鹿児島空港間における空港アクセスバスの運行を行い、人吉市へのアクセス性の向 | 民間事業者<br>人吉市<br>商工会議所<br>旅館組合              |

|   |                         |                                                                                                                                                 |                                                                        |
|---|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
|   |                         | 上を行う。併せて、空港アクセスバスだけでなく、滞在中の地域交通の情報や、観光情報の取得・予約のできる機能により地域交通の活性化及び観光客の周遊性と満足度の向上を図る。実証実験の結果、継続可能な事業と判断できれば、予約ポータルサイト「つばめエアポートライナー」の周知や情報発信強化を図る。 |                                                                        |
| ⑥ | 球磨神楽魅力発信機会創出事業          | 球磨神楽を地域文化資源として体験する宿泊施設発の文化観光ツアーを実施し、神楽の見方、神楽座の意味合いなど、球磨神楽とそれが行われる神楽座そのものについてのガイドを行ったR5年度実証実験を基に、今後は特別講演や文化観光ツアー、情報発信を継続して実施する。                  | 球磨神楽保存会<br>熊本県                                                         |
| ⑦ | 文化交流展 特集展示「人吉球磨の玉手箱」の開催 | 九州国立博物館主催の文化交流展 特集展示「人吉球磨の玉手箱」の展示に、展示物提供、図録作成、観光ポスターの掲出等で協力し、域外への人吉球磨日本遺産の周知を図る。また、ウンスンカルタの実演も行う。                                               | 全ての構成市町村                                                               |
| ⑧ | 防災学習プログラムの提供・販売         | 修学旅行の探求学習の場の提供や多様な人々の活動や意見に触れる学びの場を提供するため、豪雨災害を経験して学んだことや教訓をもとに作成した学習プログラムの提供・販売を行う。                                                            | 人吉温泉観光協会                                                               |
| ⑨ | 球磨拳とウンスンカルタの体験会や世界大会の開催 | 日本遺産の特色ある構成文化財である両者の体験会や世界大会を開催し誘客に繋げる。                                                                                                         | 日活協<br>多良木町伝統・伝承芸能保存団体連絡協議会・多良木町（球磨拳）<br>鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会（ウンスンカルタ） |
| ⑩ | 日本遺産構成文化財視察ツアーの実施       | 日本遺産構成文化財を巡るツアー造成のため、視察ツアーを実施する。                                                                                                                | 人吉温泉観光協会                                                               |
| ⑪ | 遠江国相良荘との交流事業            | 人吉球磨地域を治めた相良氏の出身地と交流することにより、相互誘客を目指す。                                                                                                           | 日活協                                                                    |
| ⑫ | 相良三十三観音巡りの再構築           | 以前にぎわっていた三十三観音巡りを再構築し、再び賑わいを取り戻せるよう検討を行う。                                                                                                       | 日活協<br>相良三十三観音協議会                                                      |
| ⑬ | お嶽さん参り                  | 領主相良氏が、領民に勧めた旧球磨郡内の最高峰である市房山への参詣ツアーを行う。                                                                                                         | 民間事業者                                                                  |

|            |                                                                                                                                                    |                                                                       |               |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---------------|
| ⑭          | 球磨焼酎銘酒祭り                                                                                                                                           | 11 蔵元の数多くの焼酎やリキュールなどを紹介。同じく構成文化財である球磨拳の大会や利き酒大会、各蔵元提供の焼酎が当たる抽選会を開催する。 | グリーン・ツーリズム研究会 |
| ⑮          | 日本遺産歴史探訪フットパス                                                                                                                                      | 日本遺産構成文化財を含む文化財を巡るフットパスを開催する。                                         | 多良木町観光案内人協会   |
| ⑯          | 商品開発                                                                                                                                               | ウンスンカルタの柄をモチーフとした T シャツの制作や球磨川絵図を基にした絵巻物の制作など、民間における商品開発を後押しする。       | 日活協<br>民間事業者  |
| 年度         | 事業評価指標                                                                                                                                             |                                                                       | 実績値・目標値       |
| 2021       | 日本遺産と連携した商品の開発数                                                                                                                                    |                                                                       | 3 件           |
| 2022       |                                                                                                                                                    |                                                                       | 28 件          |
| 2023       |                                                                                                                                                    |                                                                       | 16 件          |
| 2024       | 日本遺産と連携した商品の開発数                                                                                                                                    |                                                                       | 2 件           |
| 2025       |                                                                                                                                                    |                                                                       | 2 件           |
| 2026       |                                                                                                                                                    |                                                                       | 2 件           |
| 2027       |                                                                                                                                                    |                                                                       | 2 件           |
| 2028       |                                                                                                                                                    |                                                                       | 2 件           |
| 2029       |                                                                                                                                                    |                                                                       | 2 件           |
| 事業費        | 2024 年度：18,167 千円 2025 年度：18,000 千円 2026 年度：18,000 千円                                                                                              |                                                                       |               |
| 継続に向けた事業設計 | 観地協が連携する観光協会や観光ガイド協会において、【組織整備】で述べた広域連携体制を活用し、高価格帯の商品開発の方向性の共有と方策、また、ツアーを運営できる機能強化に向けた取組みを進めて行く。                                                   |                                                                       |               |
| 事業費        | 2027 年度：18,000 千円 2028 年度：18,000 千円 2029 年度：18,000 千円                                                                                              |                                                                       |               |
| 継続に向けた事業設計 | 観地協が連携する観光協会や観光ガイド協会において、【組織整備】で述べた広域連携体制を活用し、高価格帯の商品開発の方向性の共有と方策、また、ツアーを運営できる機能強化に向けた取組みを進めて行く。                                                   |                                                                       |               |
| (事業番号 5－B) |                                                                                                                                                    |                                                                       |               |
| 事業名        | 日本遺産観光化インバウンド推進事業                                                                                                                                  |                                                                       |               |
| 概要         | インバウンド誘客は引き続き、経済効果、持続性の観点から高付加価値・高単価のツアーを開発し、販売・手配体制を整備し、誘客プロモーションを展開し「日本でもっとも豊かな隠れ里」の地域イメージの発信に努める。<br>併せて JETRO の支援による球磨焼酎の海外販路開拓時に日本遺産の情報発信を行う。 |                                                                       |               |
|            | 取組名                                                                                                                                                | 取組内容                                                                  | 実施主体          |
| ①          | 「日本遺産×スマホゲームアプリ」の開発による着地型旅行商品の                                                                                                                     | 日本遺産を中心とした観光コンテンツについて、スマートフォン向けロールプレイングゲームアプリを開発し、GPS と連動させることで、ゲ     | あさぎり町         |

|            |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               |                                                       |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
|            | 造成事業                                                                                                  | ームの満足度を向上させるとともに観光客の周遊を促す。また、アプリ内の言語は多言語対応とし、インバウンド向けの観光事業としての活用も行う。                                                                                                                                                          |                                                       |
| ②          | 台湾人への誘客キャンペーンの開催                                                                                      | 令和 5 年 9 月に本地域と包括連携協定を締結した台湾南部の最大都市高雄市の観光団体「高雄観光圏」との連携を含め、広く台湾に対し日本遺産のストーリーや構成文化財を活用し、日台教育連携やサイクリングイベントなどインバウンドツアー誘致等を行う。                                                                                                     | 観地協<br>全ての構成市町村                                       |
| ③          | 欧米豪等を対象にした「アドベンチャートラベル」の造成                                                                            | 令和 2 年 7 月豪雨の被災により全国的に回復傾向にある観光業において、人吉市の観光宿泊客数は 6～7 割程度の回復状況と立ち遅れている。今事業では、インバウンド向けの単なる通訳と道案内に留まらず、エンターテインメント性を兼ね備えたガイドを育成し、人吉球磨地域の球磨川・川辺川をはじめとする世界に誇る美しい自然と、相良 700 年の歴史・文化にアクティビティ要素を組込んだ「アドベンチャートラベル」の造成・販売による観光復興事業を実施する。 | 人吉観光復興プロジェクト委員会<br>人吉市<br>相良村<br>民間事業者<br>一社等組合外 3 組合 |
| ④          | 球磨焼酎海外販売促進事業                                                                                          | 日本貿易振興機構（JETRO）の支援を受け、日本遺産の構成文化財の一つである「球磨焼酎」を海外に向け発信。現地のバイヤーに対し、球磨焼酎の飲み方のほか、歴史や風味の特徴、製造方法のセミナーを実施し販売促進につなげるとともに、多言語パンフレット等を用いて当地域の日本遺産の情報発信も行う。                                                                               | 球磨焼酎組合<br>各焼酎醸造元<br>JETRO                             |
| 年度         | 事業評価指標                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                               | 実績値・目標値                                               |
| 2021       | 人吉球磨地域外国人延べ宿泊者数                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 1,348 人泊                                              |
| 2022       |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 856 人泊                                                |
| 2023       |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 14,143 人泊                                             |
| 2024       | 人吉球磨地域外国人延べ宿泊者数                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 17,000 人泊                                             |
| 2025       |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 19,000 人泊                                             |
| 2026       |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 20,000 人泊                                             |
| 2027       |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 21,000 人泊                                             |
| 2028       |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 22,000 人泊                                             |
| 2029       |                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                               | 22,000 人泊                                             |
| 事業費        | 2024 年度：10,000 千円 2025 年度：10,000 千円 2026 年度：10,000 千円                                                 |                                                                                                                                                                                                                               |                                                       |
| 継続に向けた事業設計 | 包括協定を結んでいる「高雄都市圏」との連携も含め、広く台湾からの誘客に努めるとともに、他エリアと競合しない新たな顧客層の獲得も進める。<br>JETRO と連携した「球磨焼酎」の海外発信も継続していく。 |                                                                                                                                                                                                                               |                                                       |

|            |                                                                                                       |  |  |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
| 事業費        | 2027 年度：10,000 千円 2028 年度：10,000 千円 2029 年度：10,000 千円                                                 |  |  |
| 継続に向けた事業設計 | 包括協定を結んでいる「高雄都市圏」との連携も含め、広く台湾からの誘客に努めるとともに、他エリアと競合しない新たな顧客層の獲得を進める。<br>JETRO と連携した「球磨焼酎」の海外発信も継続していく。 |  |  |

(7)－6 普及啓発

(事業番号6－A)

|     |                                                         |                                                                                                                                  |                       |
|-----|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 事業名 | 学校教育との連携                                                |                                                                                                                                  |                       |
| 概要  | 地域の児童生徒が日本遺産のストーリーを理解し誇りに思えるよう、学校教育と連携し日本遺産に触れる機会を提供する。 |                                                                                                                                  |                       |
|     | 取組名                                                     | 取組内容                                                                                                                             | 実施主体                  |
| ①   | 出前講座                                                    | 小中学校・高校等において、日本遺産のストーリーや構成文化財への理解を深め、地元への愛着を育んでもらえるよう出前講座を行う。                                                                    | 全ての構成市町村              |
| ②   | 家族の時間づくりプロジェクト（学校休業日の設定・仕事休もつ化計画）                       | 児童・生徒や地域住民へ、地元への愛着を育んでもらい、シビックプライドを醸成するため、構成文化財である青井阿蘇神社の例大祭や復興する当地域の姿を、平日の場合でも、学校を休業日とし、職場も有給休暇を取得しやすくすることで、家族ぐるみで体感してもらう取組を行う。 | 人吉市                   |
| ③   | 子ども神楽教室の開催                                              | 児童・生徒に地元への愛着を育んでもらい、シビックプライドを醸成するため、鈴や刀を手に、狩衣や千早を着て舞う、伝統の球磨神楽を次世代に継承するための子ども神楽教室を開催する。また、祭り参加や伝統文化体験を行う。                         | 球磨神楽保存会<br>人吉市<br>湯前町 |
| ④   | 子どもガイドの育成・活用                                            | 小中学校・高校等において、日本遺産のストーリーや構成文化財への理解を深め、地元への愛着を育んでもらえるよう、域内の小中高校と連携し、子どもガイドの育成と積極的活用を図る。特に高校においては、インバウンド実践を含めた英語でのガイド育成を進めていく。      | 全ての構成市町村<br>小中高校      |

|      |                    |             |
|------|--------------------|-------------|
| 年度   | 事業評価指標             | 実績値・目標値     |
| 2021 | ①出前講座等の学習体験をした学生の数 | ①571 人 ②－   |
| 2022 |                    | ①401 人 ②－   |
| 2023 | ②学習体験者等による日本遺産の理解度 | ①705 人 ②－   |
| 2024 | ①出前講座等の学習体験をした学生の数 | ①400 人 ②60% |
| 2025 |                    | ①400 人 ②60% |
| 2026 | ②学習体験者等による日本遺産の理解度 | ①400 人 ②60% |

|            |                                                                                                              |             |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 2027       |                                                                                                              | ①400 人 ②60% |
| 2028       |                                                                                                              | ①400 人 ②60% |
| 2029       |                                                                                                              | ①400 人 ②60% |
| 事業費        | 2024 年度：750 千円      2025 年度：750 千円      2026 年度：750 千円                                                       |             |
| 継続に向けた事業設計 | 日本遺産を活用した地域活性化を実現するためにはシビックプライドの醸造が欠かせないものと捉え、地域の児童・生徒に対し日本遺産の認知・関心を高めるために普及啓発活動を継続的に取組みたい。                  |             |
| 事業費        | 2027 年度：750 千円      2028 年度：750 千円      2029 年度：750 千円                                                       |             |
| 継続に向けた事業設計 | 学習体験の参加者に対し、「日本遺産を誇りに思い、愛着があるか」「日本遺産に対する理解度」などを盛り込んだ内容のアンケートを実施する。その結果は有効活用し、日本遺産を活用した事業に反映させ、より良い取組につなげていく。 |             |

(事業番号 6－B)

|      |                                                       |                                                                                           |             |
|------|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 事業名  | 地域住民への普及啓発                                            |                                                                                           |             |
| 概要   | 地域住民が日本遺産のストーリーを理解し誇りに思えるよう、出前講座や施設展示等により継続的な普及啓発を行う。 |                                                                                           |             |
|      | 取組名                                                   | 取組内容                                                                                      | 実施主体        |
| ①    | 出前講座                                                  | 地域住民に、日本遺産のストーリーや構成文化財への理解を深め、地元への愛着・誇りを醸成するため、各市町において公民館講座や出前講座を行う。                      | 全ての構成市町村    |
| ②    | くまがわ文化財講座                                             | 令和 2 年 7 月豪雨災害からの復興が進む中、被災前の姿を取り戻した文化財に改めて目を向けてもらうための講座を開催する。                             | 熊本県         |
| ③    | 図書館等でのパネル展示                                           | 地域住民に、日本遺産のストーリーや構成文化財への理解を深め、地元への愛着・誇りを醸成するため、図書館等の公共施設においてパネル展示を行う。                     | 日活協         |
| ④    | 市町村の枠を超えた広報誌への構成文化財情報の掲載                              | 地域住民に、日本遺産のストーリーや構成文化財の理解を深め、地元への愛着・誇りを醸成するため、各広報誌に構成市町村を横断する連載形式で構成文化財やストーリーに関する情報を掲載する。 | 全ての構成市町村    |
| 年度   | 事業評価指標                                                |                                                                                           | 実績値・目標値     |
| 2021 | ①出前講座等の学習体験をした住民の数                                    |                                                                                           | ①267 人 ②－   |
| 2022 |                                                       |                                                                                           | ①551 人 ②－   |
| 2023 | ② 学習体験者等による日本遺産の理解度                                   |                                                                                           | ①1,325 人 ②－ |
| 2024 | ①出前講座等の学習体験をした住民の数                                    |                                                                                           | ①250 人 ②60% |
| 2025 |                                                       |                                                                                           | ①250 人 ②60% |
| 2026 | ②学習体験者等による日本遺産の理解度                                    |                                                                                           | ①250 人 ②60% |

|            |                                                                                                              |             |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 2027       |                                                                                                              | ①250 人 ②60% |
| 2028       |                                                                                                              | ①250 人 ②60% |
| 2029       |                                                                                                              | ①250 人 ②60% |
| 事業費        | 2024 年度：750 千円 2025 年度：750 千円 2026 年度：750 千円                                                                 |             |
| 継続に向けた事業設計 | 日本遺産を活用した地域活性化を実現するためにはシビックプライドの醸造が欠かせないものと捉え、地域住民に対し日本遺産の認知・関心を高めるために普及啓発活動を継続的に取組みたい。                      |             |
| 事業費        | 2027 年度：750 千円 2028 年度：750 千円 2029 年度：750 千円                                                                 |             |
| 継続に向けた事業設計 | 学習体験の参加者に対し、「日本遺産を誇りに思い、愛着があるか」「日本遺産に対する理解度」などを盛り込んだ内容のアンケートを実施する。その結果は有効活用し、日本遺産を活用した事業に反映させ、より良い取組につなげていく。 |             |

(7) - 7 情報編集・発信

(事業番号 7-A)

| 事業名 | 日本遺産情報発信                                                                                                                                                  |                                                                                                                                             |                                |
|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| 概要  | 日本遺産のストーリーに関する情報とともに、地域内外の人々が来訪する際に必要となる基本的な情報について SNS を利用した情報発信等を行う。また、日本遺産に関する情報発信において、紹介の情報と観光活用（ツアーの紹介・予約）などを結び付け、情報の一元化（窓口の一本化）を図り、総合的、効率的な情報発信を進める。 |                                                                                                                                             |                                |
|     | 取組名                                                                                                                                                       | 取組内容                                                                                                                                        | 実施主体                           |
| ①   | 構成文化財へのアクセス情報の整備                                                                                                                                          | 「人吉球磨ガイド」のサイトを改修し、構成文化財の紹介に併せて、配置状況とアクセス・交通手段を合わせた情報提供し、来訪者の利便性を高めていく。                                                                      | 観地協                            |
| ②   | 日本遺産 WEB サイトリニューアル                                                                                                                                        | 観地協や観光協会、協議会など、日本遺産に関する様々な WEB サイトが増えてきたことから、一体的に情報発信する WEB サイトへの集約化等を検討する。<br>全ての構成市町村の年間を通した日本遺産活用の取組やイベント情報を HP トップに掲載する。                | 日活協<br>観地協<br>観光協会             |
| ③   | インバウンド向け情報発信の充実                                                                                                                                           | ＜旅まえ＞<br>ツアー商品やそれに繋がる地域情報の発信を多角的に展開する。WEB、SNS の他、訪日メディアや MATCHA など情報サイトを積極的に活用する。<br>＜旅なか＞<br>WEB の改修により、構成文化財の情報（ルート、交通手段、現地対応状況など）を充実させる。 | 観地協                            |
| ④   | ホームページや SNS を活用したイベントや旬の情報発信                                                                                                                              | 域外の方や来訪者に球磨川流域への関心を持ち続けてもらい、リピーターとなってもらえるようにするため、流域で開催されるイベントや旬の情報などをホームページや SNS により発信する。                                                   | 日活協<br>観地協<br>観光協会<br>全ての構成市町村 |
| ⑤   | ホームページの多言語化拡充                                                                                                                                             | インバウンド観光の本格回復に應えるため、現在は構成文化財の解説内容など一部コンテンツにとどまっている多言語表示をホームページ全体に拡充させる。                                                                     | 日活協<br>観地協<br>観光協会             |
| ⑥   | オンラインマップへの構成文化財・関係店舗情報の掲載                                                                                                                                 | 当地域の日本遺産が利用者の目に留まるようにするため、オンラインマップ等に構成文化財の位置情報を可能な限り追加。Web 検索およびマップで検索した利用者の利便性を向上させ、ホームページへの誘導を行うため、Web 情報管理ツールに、構成文化財の基本情報・写真・特色等を掲       | 日活協<br>事業者                     |

|            |                                                    | 載。また、関連商品を販売する店舗に対しても、オンラインマップへ自社店舗の情報を積極的に掲載するよう働きかける。                                                           |                       |
|------------|----------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| ⑦          | ウィキペディアへの構成文化財情報等の掲載                               | 日本遺産のストーリーや構成文化財の情報を積極的に追加し、利用者の目に留まるようにして興味を持ってもらい、誘客を促進するため、ウィキペディアへ構成文化財情報等の掲載を行う。                             | 日活協                   |
| ⑧          | 日本遺産ポータルサイトの積極活用                                   | 日活協や観地協のホームページだけでなく、日本遺産ポータルサイトも積極的に活用し、情報発信を行う。                                                                  | 日活協                   |
| ⑨          | 日本遺産検定への協力                                         | 日本遺産普及協会が行う日本遺産検定・テキスト作成に協力しながら、人吉球磨日本遺産のストーリーや構成文化財の露出を増加させ、一般への普及や周知を行う。                                        | 日活協                   |
| ⑩          | 日本遺産ロゴマーク・人吉球磨日本遺産ロゴマークの活用                         | 日本遺産ロゴとともに、人吉球磨日本遺産ロゴマークを、例えば、観光カレンダーや自転車のジャージのデザインに取り込んでもらう等積極的に地元事業者等に活用してもらうことで、地元への愛着・誇りの醸成や対外的な PR に協力してもらう。 | 日活協<br>観光推進協議会<br>事業者 |
| 年度         | 事業評価指標                                             |                                                                                                                   | 実績値・目標値               |
| 2021       | 日本遺産の情報発信ツールの整備数                                   |                                                                                                                   | 2 件                   |
| 2022       |                                                    |                                                                                                                   | 2 件                   |
| 2023       |                                                    |                                                                                                                   | 2 件                   |
| 2024       | 日本遺産の情報発信ツールの整備数                                   |                                                                                                                   | 3 件                   |
| 2025       |                                                    |                                                                                                                   | 4 件                   |
| 2026       |                                                    |                                                                                                                   | 4 件                   |
| 2027       |                                                    |                                                                                                                   | 4 件                   |
| 2028       |                                                    |                                                                                                                   | 4 件                   |
| 2029       |                                                    |                                                                                                                   | 4 件                   |
| 事業費        | 2024 年度：1,500 千円 2025 年度：1,500 千円 2026 年度：1,500 千円 |                                                                                                                   |                       |
| 継続に向けた事業設計 | 更なるデジタル化社会が進むことが想定され、前計画期間での取組みを発展させたものとする。        |                                                                                                                   |                       |
| 事業費        | 2027 年度：1,500 千円 2028 年度：1,500 千円 2029 年度：1,500 千円 |                                                                                                                   |                       |
| 継続に向けた事業設計 | 更なるデジタル化社会が進むことが想定され、前計画期間での取組みを発展させたものとする。        |                                                                                                                   |                       |

(事業番号 7-B)

|            |                                          |                                                                                                 |         |
|------------|------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 事業名        |                                          | 日本遺産に関する情報発信イベントへの参加・開催                                                                         |         |
| 概要         |                                          | 情報発信イベントへの参加・開催することにより、日本遺産のストーリーに関する情報を主に域外を対象に発信する。                                           |         |
|            | 取組名                                      | 取組内容                                                                                            | 実施主体    |
| ①          | 日本遺産サミットにおけるPR                           | 日本遺産に興味を持ってもらい来訪につなげるため、日本遺産サミットに参加し、出展ブースを工夫してより多くの来場者を引き込み、情報発信を行うとともに、旅行者や他地域等とのネットワーク構築を図る。 | 日活協     |
| ②          | 博多どんたく港まつりにおけるPR                         | 域外の客に対して、人吉球磨日本遺産をPRし、誘客のきっかけとするため、観客数200万人を誇る博多どんたくのパレードに参加する。                                 | 日活協     |
| ③          | 県内他地域と連携した取組み                            | 構成文化財等を活用した新たな魅力創出を図るため、県内の他の日本遺産地域と、企画展など連携した取組みを行う。                                           | 日活協     |
| ④          | ALT向けスタディツアーの実施                          | 管内10の構成市町村に勤務するALTを対象として、日本遺産のストーリーや構成文化財を学習するツアーを開催する。インバウンドの関心を探るとともに、SNSで情報発信してもらう。          | 山江村     |
| 年度         | 事業評価指標                                   |                                                                                                 | 実績値・目標値 |
| 2021       | 日本遺産に関する情報発信イベントの参加・開催状況                 |                                                                                                 | —       |
| 2022       |                                          |                                                                                                 | —       |
| 2023       |                                          |                                                                                                 | —       |
| 2024       | 日本遺産に関する情報発信イベントの参加・開催状況                 |                                                                                                 | 3回      |
| 2025       |                                          |                                                                                                 | 3回      |
| 2026       |                                          |                                                                                                 | 3回      |
| 2027       |                                          |                                                                                                 | 3回      |
| 2028       |                                          |                                                                                                 | 3回      |
| 2029       |                                          |                                                                                                 | 3回      |
| 事業費        | 2024年度：300千円 2025年度：300千円 2026年度：300千円   |                                                                                                 |         |
| 継続に向けた事業設計 | 日本遺産に関する情報発信イベントに参加・開催することで、継続的な情報発信を行う。 |                                                                                                 |         |
| 事業費        | 2027年度：300千円 2028年度：300千円 2029年度：300千円   |                                                                                                 |         |
| 継続に向けた事業設計 | 日本遺産に関する情報発信イベントに参加・開催することで、継続的な情報発信を行う。 |                                                                                                 |         |

(事業番号 7-C)

|            |                                                        |                                                                                                                 |         |
|------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 事業名        |                                                        | 日本遺産フォトコンテスト・観光カレンダー制作販売                                                                                        |         |
| 概要         |                                                        | 日本遺産の構成文化財を主題としたフォトコンテストを開催し、入賞作品を使用したカレンダーを作成し販売を行う。                                                           |         |
|            | 取組名                                                    | 取組内容                                                                                                            | 実施主体    |
| ①          | 日本遺産フォトコンテスト・日本遺産カレンダー作成事業                             | 日本遺産の構成文化財を主題とした写真を募集し、各賞を選定。入賞作品については、カレンダー作品として採用。観光カレンダーとして販売を行う。カレンダーの中にも日本遺産の詳細情報を掲載し周知に努め、情報発信及び認知度向上を図る。 | 観光協会    |
| ②          | 人吉球磨日本遺産観光写真展の開催                                       | J R人吉駅において、フォトコンテストに応募のあった写真による日本遺産ミニ展覧会を開催する。                                                                  | 観光協会    |
| 年度         | 事業評価指標                                                 |                                                                                                                 | 実績値・目標値 |
| 2021       | カレンダー販売数                                               |                                                                                                                 | 2,438 本 |
| 2022       |                                                        |                                                                                                                 | 2,980 本 |
| 2023       |                                                        |                                                                                                                 | 3,424 本 |
| 2024       | カレンダー販売数                                               |                                                                                                                 | 2,000 本 |
| 2025       |                                                        |                                                                                                                 | 2,000 本 |
| 2026       |                                                        |                                                                                                                 | 2,000 本 |
| 2027       |                                                        |                                                                                                                 | 2,000 本 |
| 2028       |                                                        |                                                                                                                 | 2,000 本 |
| 2029       |                                                        |                                                                                                                 | 2,000 本 |
| 事業費        | 2024 年度：1,400 千円   2025 年度：1,400 千円   2026 年度：1,400 千円 |                                                                                                                 |         |
| 継続に向けた事業設計 | 日本遺産カレンダーを一般向けに販売することで持続可能な事業とする。                      |                                                                                                                 |         |
| 事業費        | 2027 年度：1,400 千円   2028 年度：1,400 千円   2029 年度：1,400 千円 |                                                                                                                 |         |
| 継続に向けた事業設計 | 日本遺産カレンダーを一般向けに販売することで持続可能な事業とする。                      |                                                                                                                 |         |